

第2章 対象事業実施区域及びその周囲の概況

対象事業実施区域及びその周囲の概況は、図 2-1 に示す範囲（以下「調査区域」という。）を基本として把握した。

なお、出典元の統計情報が行政区分でまとめられている人口、産業の状況等は、調査区域を含む相模原市、厚木市及び座間市（以下「調査対象地域」という。）に関する情報を整理した。また、動物等に関する文献資料のうち出典元の統計情報が 2 次メッシュ^注でまとめられているものは、調査区域を含む「上溝」及び「原町田」の 2 つの 2 次メッシュ（以下「調査対象 2 次メッシュ」という。）に関する情報を整理した。

地域の概況の作成に用いた資料は令和 8 年 4 月末の時点で入手可能な最新の資料とした。

注)「統計に用いる標準地域メッシュ及び標準地域メッシュコード」(昭 48.7.12 行政管理庁告示第 143 号)に基づく標準地域メッシュ・システムに基づくものであり、一定の経線、緯線で地域を網の目状に区画する方法である。経度差 1 度、緯度差 40 分で区画された範囲を 1 次メッシュとし、1 次メッシュを縦横 8 等分したものが 2 次メッシュである。

2 次メッシュは 1/2.5 万地形図の図郭割の範囲に該当し、約 10 × 10km である。

(環境省 自然環境局 生物多様性センターHP から引用・作成)

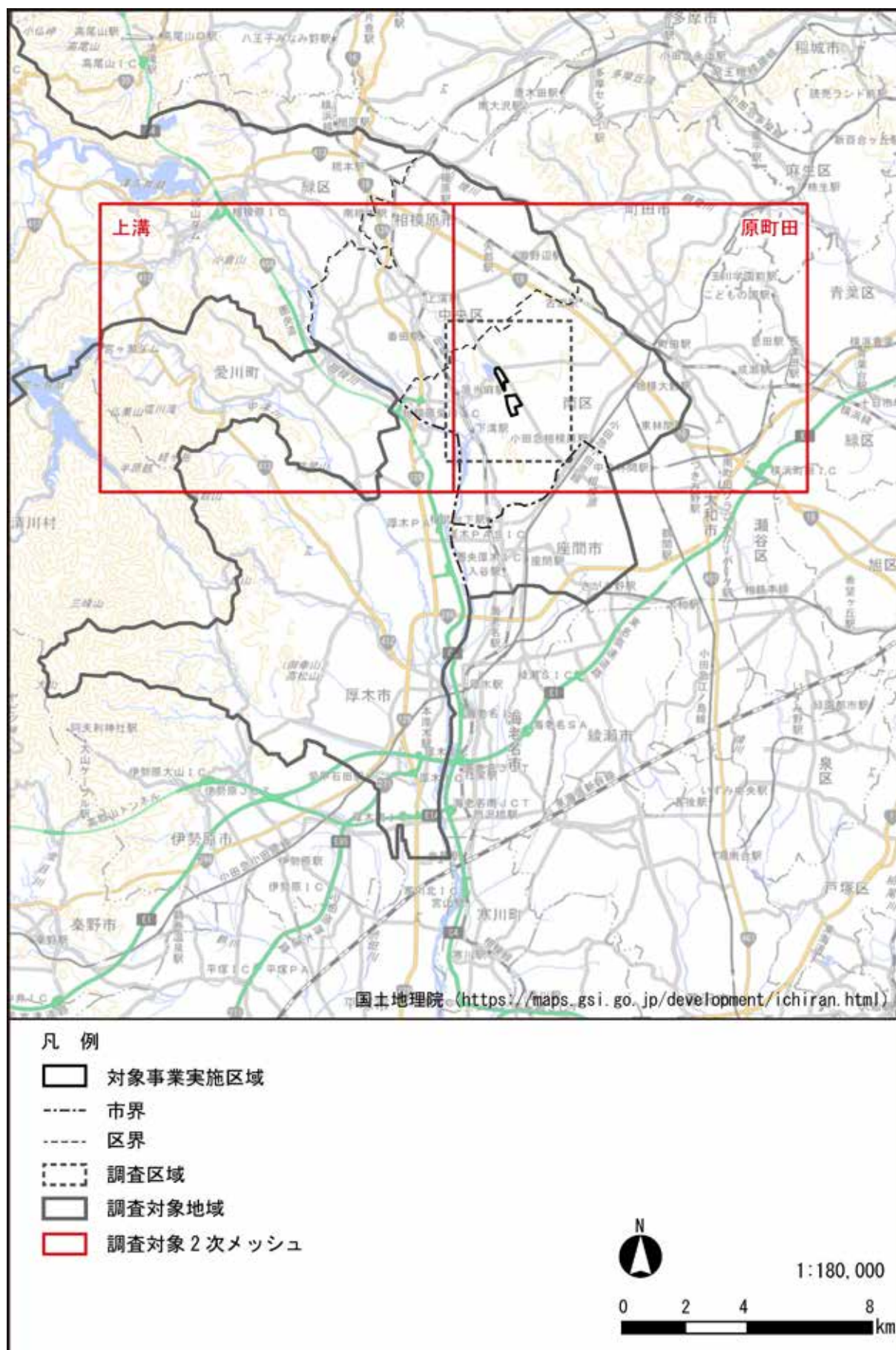


図 2-1 調査区域範囲図

2.1 地域の概況（自然的状況）

2.1.1 気象の状況

対象事業実施区域の最寄りの気象観測所である相模原市消防局（相模原市中央区中央 2-2-15、図 2.1-1 参照）における令和 3 年～令和 7 年の気象の状況は、表 2.1-1 に示すとおりである。

令和 7 年の平均気温は 17.0 、相対湿度は 67.2%、降水量は 1,286.5mm、平均風速は 3.0m/s、平均風向は南となっている。

表 2.1-1 気象の状況

年月	気温					相対湿度	降水量	風	
	平均 ()	最高		最低					
		平均 ()	極最高 ()	平均 ()	極最低 ()	平均 (%)	総数 (mm)	平均風速 (m/s)	平均風向
令和 3 年	16.4	20.8	39.4	12.7	-1.9	68.9	1,924.0	3.0	南
令和 4 年	16.3	20.7	37.6	12.7	-3.2	63.9	1,637.5	3.0	南
令和 5 年	17.4	21.9	39.2	13.6	-4.1	63.1	1,445.0	3.1	南
令和 6 年	17.4	21.9	39.3	13.6	-1.0	67.7	2,144.0	3.1	南
令和 7 年	17.0	21.5	38.8	13.3	-2.0	67.2	1,286.5	3.0	南
1 月	6.2	10.7	14.4	2.1	-0.6	50.5	34.0	2.8	西北西
2 月	5.8	10.8	17.0	1.2	-2.0	44.5	7.5	3.1	西北西
3 月	10.4	15.2	27.2	6.0	0.5	63.0	153.0	3.3	北
4 月	15.4	19.9	26.5	11.1	3.0	67.0	176.0	3.5	南
5 月	18.9	22.8	30.3	15.2	12.1	74.2	241.5	3.2	南
6 月	24.7	29.0	35.6	21.5	16.0	77.1	72.0	3.2	南
7 月	28.1	33.0	37.2	24.8	20.7	77.4	123.0	3.6	南
8 月	29.6	34.4	38.8	26.3	24.2	72.7	104.5	3.1	南
9 月	26.4	30.4	36.4	23.0	18.3	76.0	183.0	2.8	南
10 月	18.3	21.5	29.9	15.6	10.9	78.9	133.0	2.7	北
11 月	12.5	16.5	21.4	8.6	4.3	64.6	6.5	2.5	西北西
12 月	8.1	12.4	20.6	4.0	0.0	60.1	52.5	2.7	西北西

出典：「令和 7 年版 統計書」（令和 8 年 4 月閲覧、相模原市）



図 2.1-1 気象観測所位置図

2.1.2 地象の状況

(1) 地形

調査区域の地形の状況は、図 2.1-2 に示すとおりである。

対象事業実施区域の地形は、主に段丘地形（武蔵野段丘面群）である。

対象事業実施区域周辺の地形は、主に段丘地形（武蔵野段丘面群）であり、東側には人工地形（平坦化地）が分布している。西側には主に一般山地（急斜面）に囲まれた低地の一般面（谷底平野）等の沢地形が分布し、その背後には段丘地形（立川段丘面群及び武蔵野段丘面群）が広がっている。

(2) 地質

調査区域の表層地質の状況は、図 2.1-3 に示すとおりである。

対象事業実施区域の表層地質は、軽石・スコリア層を挟む火山灰層からなる武蔵野ローム層である。

対象事業実施区域周辺の表層地質は、主に軽石・スコリア層を挟む火山灰層からなる武蔵野ローム層であり、西側には泥を主とし砂を含む沖積層、南側には軽石・スコリア層を挟む火山灰層からなる相模層群 多摩ローム相当層、南東側には埋立て土からなる埋土が分布している。また、相模川周辺には、砂・礫を主とし泥を含む沖積層、その背後には泥を主とし砂を含む沖積層が分布している。加えて、鳩川、道保川及び姥川等のその他の相模川水系の河川には、河道周辺に泥を主とし砂を含む沖積層、その背後にスコリアを含む火山灰層からなる立川ローム層が広がっている。さらに、相模川と鳩川、道保川及び姥川等のその他の相模川水系の間に流れる八瀬川に沿って、礫・砂からなる新期段丘層及び礫を主とし砂・泥を挟む相模層群 下部から上部多摩ローム相当層（水域層）が線状に分布している。

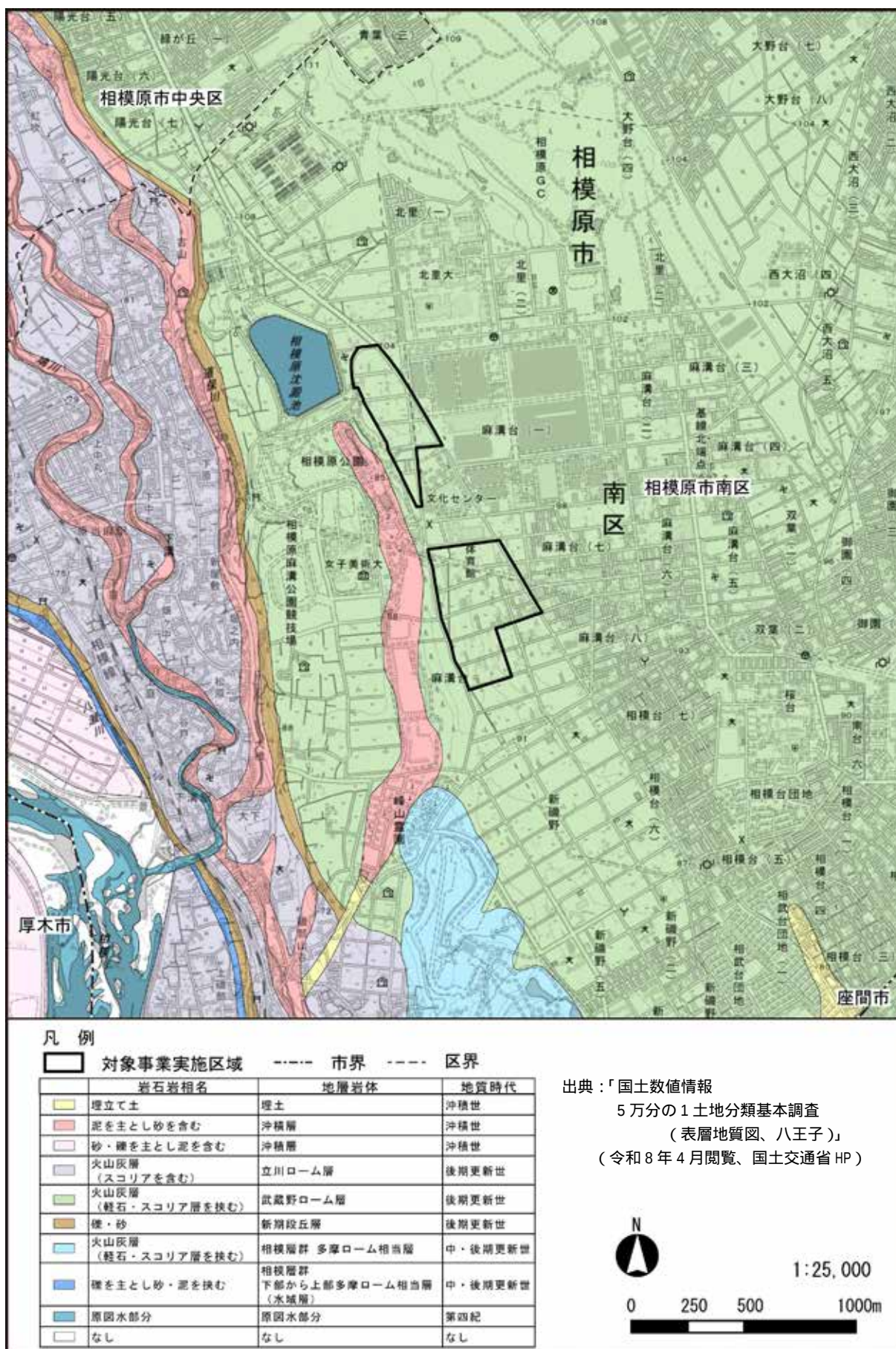


図 2.1-3 表層地質図

(3) 重要な地形・地質

調査区域の重要な地形・地質の状況は、表 2.1-2 及び図 2.1-4 に示すとおりである。

対象事業実施区域には、重要な地形として、「相模川（上野原、八王子）相模原段丘群、田名原段丘群、陽原段丘群」及び「相模川中流部（左岸：相模原面）」が存在する。

調査区域には、「相模川（上野原、八王子）相模原段丘群、田名原段丘群、陽原段丘群」、「上溝七曲り坂」等が存在する。

なお、調査区域に、地形・地質に係る天然記念物は存在しない。

表 2.1-2 重要な地形・地質

番号	名称	区分等	出典
1	相模川(上野原、八王子)相模原段丘群、田名原段丘群、陽原段丘群	自然景観資源(河成段丘)	
2	相模川中流部(右岸：中津原面、左岸：相模原面、田名原面、陽原面)	ランク：C(現在著しく破壊されつつある地形) カテゴリー：(河川をつくる地形) 選定基準：(日本の地形を代表する典型的かつ希少、貴重な地形) (多数存在するが、なかでも典型的な形態を示し、保存することが望ましい地形)	
3	大正坂の地層	後世に伝えたい地学的な遺産	
4	相模川(上野原、八王子)相模原段丘群	河岸段丘及び段丘崖	
5	相模川	扇状地	
6	上溝七曲り坂	指標テフラの見える露頭	

注) 表中の番号は、図 2.1-4 中の番号に対応する。

出典： 「第3回自然環境保全基礎調査 神奈川県自然環境情報図」(平成元年、環境庁)
「日本の地形レッドデータブック 第2集-保存すべき地形-」(平成14年、(株)古今書院)
「相模原市史 自然編」(平成21年、相模原市)
「日本の典型地形について」(令和8年4月閲覧、国土地理院HP)



図 2.1-4 重要な地形・地質の状況

2.1.3 水象の状況

(1) 河川の位置・流域

調査区域の主な河川の状況は、表 2.1-3 及び図 2.1-5 に示すとおりである。

調査区域の主な河川としては、相模川水系の相模川、鳩川、鳩川分水路、鳩川隧道分水路、道保川、八瀬川及び姥川が挙げられる。

表 2.1-3 河川の状況

河川区分	水系名	河川名	延長（m）	流域面積（km ² ）	
一級河川	相模川	相模川	55,600	県内	672.97
				県外	1,121.05
		鳩川	14,250		54.21
		鳩川分水路	230		-
		鳩川隧道分水路	260		-
		道保川	2,400		7.30
準用河川		八瀬川	5,000		5.22
		姥川	6,500		10.85

出典：「令和4年度 土地統計資料集」(令和8年4月閲覧、神奈川県 HP)

「相模原市内を流れる河川とその管理者」(令和8年4月閲覧、相模原市 HP)

(2) 地下水及び湧水の状況

1) 地下水

調査区域における地下水の状況は、表 2.1-4 及び図 2.1-5 に示すとおりである。

調査区域では、4 地点（一般廃棄物最終処分場周縁）で地下水の水質調査が行われている。

令和 3 年度～令和 7 年度の調査結果では、令和 7 年度の 1,4-ジオキサン（2-2 観測井）が目標値に適合していない。

表 2.1-4(1) 地下水の水質調査結果（1 号観測井[県立相模原公園内]）

測定項目	単位	採水日					目標値
		R3.10.5 (R3.11.2)	R4.11.9 (R4.11.29)	R5.11.14 (R5.11.28)	R6.9.6 (R6.11.22)	R7.12.9 (R7.8.15)	
pH	-	6.8～7.6	6.3～8.1	6.5～7.3	6.7～7.8	6.8～7.8	-
アルキル水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005 以下
カドミウム	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003 以下
鉛	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01 以下
六価クロム	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.05 以下
砒素	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01 以下
全シアン	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	検出されないこと
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
トリクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01 以下
テトラクロロエチレン	mg/L	0.0018	0.0010	0.0012	0.0009	0.0012	0.01 以下
ジクロロメタン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 以下
四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.1 以下
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006 以下
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
チウラム	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006 以下
シマジン	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003 以下
チオベンカルブ	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 以下
ベンゼン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下
セレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01 以下
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05 以下
クロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
電気伝導率	mS/m	23～24	23～24	22～25	19～25	23～27	変動しないこと
塩化物イオン	mg/L	7～8	8～9	7～9	6～8	6.7～8.1	変動しないこと
ダイオキシン類	Pg-TEQ/L	0.064	0.017	0.063	0.015	0.017	1 以下

注) 1: 採水日の () は、ダイオキシン類の採水日を示す。

2: pH、電気伝導率、塩化物イオンの採水は、通年（各月 1 回）で行われている。

出典：「維持管理の状況に関する情報（一般廃棄物最終処分場）」（相模原市）

表 2.1-4(2) 地下水の水質調査結果(2号観測井[峰山霊園内])

測定項目	単位	採水日					目標値
		R3.10.5 (R3.11.2)	R4.11.9 (R4.11.29)	R5.11.14 (R5.11.28)	R6.9.6 (R6.11.22)	R7.12.9 (R7.8.15)	
pH	-	6.6~7.6	6.6~7.7	6.2~7.3	6.6~7.4	6.5~8.0	-
アルキル水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	不検出	検出されないこと
総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005 以下
カドミウム	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003 以下
鉛	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01 以下
六価クロム	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.05 以下
砒素	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01 以下
全シアン	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	検出されないこと
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
トリクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01 以下
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.01 以下
ジクロロメタン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 以下
四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.1 以下
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006 以下
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
チウラム	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006 以下
シマジン	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003 以下
チオベンカルブ	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 以下
ベンゼン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下
セレン	mg/L	0.003	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01 以下
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05 以下
クロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
電気伝導率	mS/m	64~91	81~89	72~82	73~82	81~86	変動しないこと
塩化物イオン	mg/L	6~8	7	5~7	5~8	5.1~6.8	変動しないこと
ダイオキシン類	Pg-TEQ/L	0.064	0.016	0.067	0.016	0.021	1 以下

注) 1: 採水日の()は、ダイオキシン類の採水日を示す。

2: pH、電気伝導率、塩化物イオンの採水は、通年(各月1回)で行われている。

出典:「維持管理の状況に関する情報(一般廃棄物最終処分場)」(相模原市)

表 2.1-4(3) 地下水の水質調査結果 (2-2 観測井[最終処分場第1期整備地東側])

測定項目	単位	採水日					目標値
		R3.10.5 (R3.11.2)	R4.11.9 (R4.11.29)	R5.11.14 (R5.11.28)	R6.9.6 (R6.11.22)	R7.12.9 (R7.8.15)	
pH	-	6.2~6.7	6.4~7.7	6.2~7.2	6.4~8.1	6.0~8.6	-
アルキル水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	不検出	検出されないこと
総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005 以下
カドミウム	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003 以下
鉛	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01 以下
六価クロム	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.05 以下
砒素	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01 以下
全シアン	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	検出されないこと
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
トリクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01 以下
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.01 以下
ジクロロメタン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 以下
四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.1 以下
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006 以下
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
チウラム	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006 以下
シマジン	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003 以下
チオベンカルブ	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 以下
ベンゼン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下
セレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01 以下
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	0.0050	0.006	<0.005	0.11	0.05 以下
クロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
電気伝導率	mS/m	35~54	36~47	38~54	33~46	41~52	変動しないこと
塩化物イオン	mg/L	14~73	13~46	16~71	11~40	25~57	変動しないこと
ダイオキシン類	Pg-TEQ/L	0.062	0.016	0.062	0.015	0.017	1 以下

注) 1: 採水日の () は、ダイオキシン類の採水日を示す。

2: pH、電気伝導率、塩化物イオンの採水は、通年 (各月1回) で行われている。

3: 網掛けは、目標値に適合していないことを示す。

出典: 「維持管理の状況に関する情報 (一般廃棄物最終処分場)」 (相模原市)

表 2.1-4(4) 地下水の水質調査結果 (6-2 観測井[最終処分場第2期整備地西側])

測定項目	単位	採水日					目標値
		R3.10.5 (R3.11.2)	R4.11.9 (R4.11.29)	R5.11.14 (R5.11.28)	R6.9.6 (R6.11.22)	R7.12.9 (R7.8.15)	
pH	-	6.3~7.4	6.6~8.3	5.7~7.4	6.4~7.8	6.5~8.2	-
アルキル水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	不検出	検出されないこと
総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005 以下
カドミウム	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003 以下
鉛	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01 以下
六価クロム	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.05 以下
砒素	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01 以下
全シアン	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	検出されないこと
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
トリクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01 以下
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.01 以下
ジクロロメタン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 以下
四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.1 以下
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006 以下
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
チウラム	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006 以下
シマジン	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003 以下
チオベンカルブ	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 以下
ベンゼン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下
セレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01 以下
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05 以下
クロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
電気伝導率	mS/m	16~34	13~34	28~35	29~37	30~39	変動しないこと
塩化物イオン	mg/L	<5~7	<5~7	6~8	6~7	6.0~7.0	変動しないこと
ダイオキシン類	Pg-TEQ/L	0.065	0.022	0.063	0.017	0.026	1 以下

注) 1: 採水日の () は、ダイオキシン類の採水日を示す。

2: pH、電気伝導率、塩化物イオンの採水は、通年 (各月1回) で行われている。

出典: 「維持管理の状況に関する情報 (一般廃棄物最終処分場)」 (相模原市)

2) 湧水

調査区域における代表的な湧水の状況は、表 2.1-5 及び図 2.1-5 に示すとおりである。

調査区域には 14 箇所の湧水が存在する。なお、対象事業実施区域に湧水は存在しない。

湧水量の経年変化は表 2.1-6 に示すとおりであり、4.3L/min（令和 6 年度のフィッシングパーク上の湧水期）～455.3L/min（令和 3 年度の十二天神社横の豊水期）の範囲であった。

また、地点や年度によりばらつきはあるが、全体として減少傾向にある。

表 2.1-5 湧水の状況

番号	名称	出典
1	道保川公園	
2	十二天神社横	
3	相模原浄水場下	
4	フィッシングパーク上	
5	麻溝台	
6	相模ヶ丘病院下	
7	道保川中流部	
8	陽光台下	
9	虹吹分水池下	
10	おみたれ水	
11	井沢宅脇	
12	名称不明	
13	名称不明	
14	名称不明	

注) 表中の番号は、図 2.1-5 中の番号に対応する。

出典：「湧水保全ポータルサイト」(令和 8 年 4 月閲覧、環境省 HP)

「相模原市史 自然編」(平成 21 年、相模原市)

「湧水調査結果報告書」(平成 3 年、神奈川県温泉地学研究所)

「平成 24 年度～令和 6 年度 相模原市自然環境観察員制度年次報告書」
(令和 8 年 4 月閲覧、相模原市立環境情報センターHP)

表 2.1-6 湧水量の経年変化

番号	名称	調査 時期	湧水量 (L/min)								
			H24	H25	H27	H28	H30	R1	R3	R4	R6
1	道保川公園	豊水期	90.0	-	114.0	-	45.5	-	65.0	-	40.0
		湧水期	48.0	-	73.6	-	36.8	-	37.1	-	18.4
2	十二天神社横	豊水期	305.0	-	436.0	-	376.0	-	455.3	-	249.6
		湧水期	193.0	-	302.0	-	126.6	-	242.0	-	158.7
3	相模原浄水場下	豊水期	73.0	-	107.0	-	51.1	-	98.4	-	91.5
		湧水期	31.0	-	68.0	-	29.7	-	51.2	-	37.0
4	フィッシング パーク上	豊水期	38.0	-	71.7	-	37.3	-	52.7	-	37.3
		湧水期	26.0	-	50.7	-	12.7	-	22.2	-	4.3
5	麻溝台	豊水期	34.0	-	160.0	-	83.0	-	135.8	-	-
		湧水期	-	-	33.9	-	-	-	27.2	-	-
6	相模ヶ丘病院下	豊水期	73.0	-	80.0	-	71.8	-	101.6	-	-
		湧水期	53.0	-	45.1	-	47.3	-	65.2	-	-

注) 1:「-」は、調査が行われていないことを示す。

2: 表中の番号は、図 2.1-5 中の番号に対応する。

出典：「平成 24 年度～令和 6 年度 相模原市自然環境観察員制度年次報告書」

(令和 8 年 4 月閲覧、相模原市立環境情報センターHP)

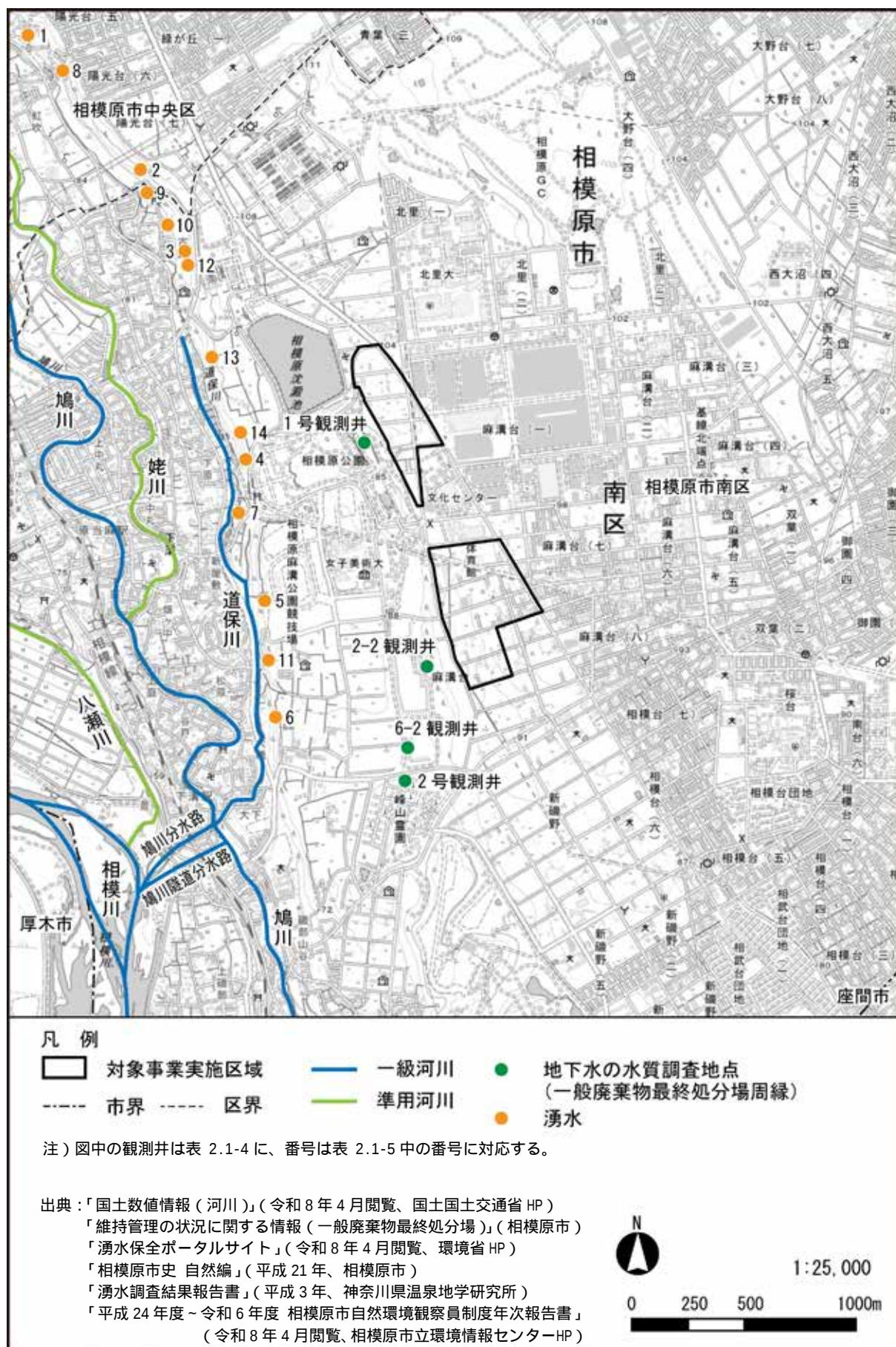


図 2.1-5 河川、地下水調査地点及び湧水の状況

2.1.4 植物、動物の状況

(1) 植物の生育及び分布、植生

調査区域における植物相の状況を把握するため、表 2.1-7 に示す植物相に係る文献を整理した。

表 2.1-7 文献その他の資料（植物）

No	文献その他資料名	出典・編集者	発行年 閲覧時期	対象データ の範囲
1	神奈川県レッドデータブック 2022 植物編	神奈川県環境農政局 緑政部自然環境保全課	令和 4 年 3 月	調査対象地域
2	相模原市史 自然編	相模原市	平成 21 年 5 月	相模原市
3	相模原市自然環境観察員制度 年次報告書 (令和 2 年度～令和 6 年度)	相模原市立環境情報 センターHP	令和 8 年 4 月閲覧	相模原市
4	相模原市の生物 希少な生物	相模原市 HP	令和 8 年 4 月閲覧	相模原市
5	相模原市の生物 外来種	相模原市 HP	令和 8 年 4 月閲覧	相模原市
6	厚木市レッドデータブック 厚木市レッドリスト	厚木市	令和 3 年 3 月	厚木市
7	厚木市レッドデータブック 厚木市生物目録	厚木市	令和 3 年 3 月	厚木市
8	座間市の動物：座間市動物調査報告書	座間市教育委員会	平成 5 年 3 月	座間市

注) 調査対象地域の範囲は前掲図 2-1 (p.2-2) 参照。

1) 植物の重要な種

植物の重要な種は、表 2.1-7 の文献で確認された種について、表 2.1-8 に示す選定基準に基づき、学術上又は希少性の観点から選定した。また、対象とする重要種は、表 2.1-8 の及び に示すカテゴリーの絶滅（EX）及び野生絶滅（EW）以外とした。

表 2.1-8 植物の重要な種の選定基準

No.	選定基準	カテゴリー
	「文化財保護法」（昭和 25 年法律第 214 号） 「神奈川県文化財保護条例」（昭和 30 年神奈川県条例第 13 号） 「相模原市文化財の保存及び活用に関する条例」（平成 12 年相模原市条例第 27 号） 「厚木市文化財保護条例」（平成 5 年厚木市条例第 3 号） 「座間市文化財保護条例」（昭和 53 年座間市条例第 13 号）	特天：特別天然記念物 国天：天然記念物 県天：神奈川県天然記念物 市天：相模原市天然記念物 厚木市天然記念物 座間市天然記念物
	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年法律第 75 号）	国際：国際希少野生動植物 国内：国内希少野生動植物
	「環境省第 5 次レッドリスト（植物・菌類）」 （令和 7 年 3 月、環境省）	EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR：絶滅危惧 A 類 EN：絶滅危惧 B 類 VU：絶滅危惧 類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群
	「神奈川県レッドデータブック 2022 植物編」 （令和 4 年 3 月、神奈川県）	EX：絶滅 準絶：準絶滅 EW：野生絶滅 CR+EN：絶滅危惧 類 CR：絶滅危惧 A 類 EN：絶滅危惧 B 類 VU：絶滅危惧 類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群 注目：注目種
	「厚木市レッドデータブック」（令和 3 年 3 月、厚木市）	EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR+EN：絶滅危惧 類 CR：絶滅危惧 A 類 EN：絶滅危惧 B 類 VU：絶滅危惧 類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足

調査区域における植物の生育状況は、以降に示すとおりである。

文献により確認された植物は 64 目 181 科 1,980 種であり、そのうち、表 2.1-9 に示すとおり、重要な植物として 42 目 88 科 355 種が確認された。

表 2.1-9(1) 植物の重要な種一覧

No.	目名	科名	種名	選定基準				
1	ヒカゲノカズラ	ヒカゲノカズラ	トウゲシバ(広義)					NT
2			スギラン			VU	VU	
3	イワヒバ	イワヒバ	エゾノヒメクラマゴケ				EN	
4			イヌカタヒバ			VU		
5	ミズニラ	ミズニラ	ミズニラ			NT	VU	CR+EN
6	ハナヤスリ	ハナヤスリ	シチトウハナワラビ				NT	
7			ウスイハナワラビ				NT	
8			コヒロハハナヤスリ				NT	
9	マツバラン	マツバラン	マツバラン			NT	NT	
10	コケシノブ	コケシノブ	ヒメコケシノブ				NT	
11	サンショウモ	デンジソウ	デンジソウ			NT	VU	VU
12		サンショウモ	オオアカウキクサ			EN	VU	DD
13			サンショウモ			NT	CR	CR+EN
14	ヘゴ	キジノオシダ	オオキジノオ				NT	
15	ウラボシ	ホングウシダ	ハマホラシノブ				EN	
16		イノモトソウ	ヒメミズワラビ				NT	
17			ヒメウラジロ			NT	VU	
18			アマクサシダ					VU
19		ナヨシダ	ウスヒメワラビ				EN	
20		チャセンシダ	ヒメイワトラノオ				VU	
21			ヤマドリトラノオ			CR	CR	
22			クモノスシダ					VU
23			チャセンシダ				VU	
24			イヌチャセンシダ				VU	
25		ヒメシダ	イブキシダ				CR	
26			メニッコウシダ				CR	
27		イワデンダ	コガネシダ					VU
28		メシダ	タカオシケチシダ					DD
29			ムクゲシケシダ				VU	
30			コヒロハシケシダ				EN	
31			ミドリワラビ				EN	
32			オニヒカゲワラビ				VU	
33		オシダ	シノブカグマ				EN	
34			ミドリカナワラビ				VU	
35			ヒロハヤブソテツ				VU	
36			イヌイワイタチシダ				NT	
37			ナガサキシダ				EN	
38			ホソイノデ				EN	
39		ウラボシ	イワヤナギシダ				VU	
40			カラクサシダ				NT	
41			オオエゾデンダ			EN		
42	マツ	マツ	ハリモミ				VU	
43			ゴヨウマツ				VU	
44			コメツガ				EN	
45	ヒノキ	ヒノキ	ネズミサシ				NT	
46	スイレン	スイレン	コウホネ				CR	
47	コショウ	ウマノスズクサ	ウスバサイシン				EN	
48	クスノキ	クスノキ	ニッケイ			NT		

表 2.1-9(2) 植物の重要な種一覧

No.	目名	科名	種名	選定基準				
49	オモダカ	サトイモ	ヒガンマムシグサ				VU	
50		オモダカ	ヘラオモダカ					VU
51			トウゴクヘラオモダカ			EN	CR	
52			アギナシ			NT	CR	
53		トチカガミ	ミカウスブタ				CR	
54			ヤナギスブタ				CR	
55			クロモ				EN	
56			ヒロハトリゲモ			NT	NT	VU
57			イトトリゲモ			NT	NT	VU
58			ホッスモ				CR	DD
59			トリゲモ			VU	CR	
60			ミズオオバコ			NT	VU	CR+EN
61			セキショウモ				EN	
62		ヒルムシロ	イトモ			NT	EN	VU
63			ヒルムシロ					NT
64			センニンモ				NT	DD
65			ホソバミズヒキモ				EN	
66			ツツイトモ			VU	EN	
67			ササバモ				NT	VU
68			リュウノヒゲモ			NT	VU	DD
69	ヤマノイモ	キンコウカ	ネバリノギラン				CR	
70	ユリ	シュロソウ	クルマバツクパネソウ				CR	
71			シュロソウ				VU	
72		ユリ	カタクリ				VU	CR+EN
73			ヤマジノホトトギス				EN	
74			タイワンホトトギス			VU		
75			アマナ				NT	VU
76	クサスギカズラ	ラン	シラン			NT	NT	
77			エビネ			NT	NT	
78			ナツエビネ			VU	EN	
79			ギンラン					NT
80			キンラン			NT	NT	NT
81			ササバギンラン					NT
82			ユウシュンラン			NT	EN	
83			シュンラン					NT
84			マヤラン			VU		NT
85			サガミラン			NT	NT	DD
86			クマガイソウ			VU	VU	DD
87			ツチアケビ					VU
88			イチヨウラン				CR	
89			ハコネラン			EN	EN	
90			アオスズラン				VU	
91			カキラン				VU	DD
92			タシロラン			NT		
93			カモメラン			NT	CR	
94			オノエラン				VU	
95			アキザキヤツシロラン					NT
96			オニノヤガラ					DD
97			シロテンマ			EN	EN	

表 2.1-9(3) 植物の重要な種一覧

No.	目名	科名	種名	選定基準				
98	クサスギカズラ	ラン	クロヤツシロラン					NT
99			ベニシュスラン				NT	
100			ムカゴソウ			VU	CR	
101			オオハクウンラン			CR	CR	DD
102			ハクウンラン				EN	
103			クロムヨウラン			VU		
104			ジガバチソウ				CR	
105			コ克蘭					NT
106			ヒメフタバラン				VU	
107			アオフタバラン				EN	
108			ミヤマモジズリ				CR	
109			ヨウラクラン				VU	
110			ジンバイソウ				EN	
111			オオバナオオヤマサギソウ			CR	CR	
112			イヌマムカゴ			EN	CR	
113			ツレサギソウ				EN	
114			ナガバノキソチドリ				CR	
115			トンボソウ					NT
116			カヤラン				NT	
117			ヒトツボクロ				VU	
118		アヤメ	ヒオウギ				VU	
119			ノハナショウブ				EN	
120		ヒガンバナ	ヒメニラ				EN	
121			オオキツネノカミソリ				EN	
122		クサスギカズラ	キジカクシ				VU	
123			イワギボウシ					DD
124			ユキザサ				NT	
125			ヤマアマドコロ				NT	
126	イネ	ガマ	ミクリ			NT	NT	VU
127		ホシクサ	ホシクサ					DD
128			コイヌノヒゲ				EN	
129		イグサ	ヒメコウガイゼキショウ				VU	
130			オカスズメノヒエ				CR	
131		カヤツリグサ	イトテンツキ			NT	EN	
132			マツバスゲ				VU	DD
133			ハリガネスゲ				VU	
134			オニスゲ					VU
135			オクノカンスゲ				VU	
136			ヤガミスゲ				VU	
137			ピロードスゲ					DD
138			アワボスゲ				EN	
139			ヒメモエギスゲ				EN	
140			クサスゲ				VU	
141			アゼスゲ					DD
142			カンエンガヤツリ			VU	EN	
143			ツルナシコアゼガヤツリ				VU	
144			タチヒメクグ				VU	
145			シロガヤツリ				VU	
146			ヒメガヤツリ				EN	

表 2.1-9(4) 植物の重要な種一覧

No.	目名	科名	種名	選定基準				
147	イネ	カヤツリグサ	オオハリイ				NT	
148			ハリイ				VU	
149			スジヌマハリイ			VU	CR	
150			シカクイ				NT	
151			コアゼテンツキ				EN	
152			アゼテンツキ				VU	
153			メアゼテンツキ				VU	
154			ヒンジガヤツリ					DD
155			ホタルイ					VU
156			タイワンヤマイ				CR	
157			コマツカサススキ				EN	
158		イネ	ハネガヤ				EN	
159			コウヤザサ				EN	
160			ホッスガヤ				NT	
161			キタメヒシバ				NT	
162			ミズタカモジグサ			VU		
163			スズメガヤ				VU	
164			ヒメウキガヤ				CR	
165			ハイチゴザサ				NT	DD
166			ケカモノハシ				VU	
167			ミノボロ				CR	
168			イトアゼガヤ				EN	
169			ミチシバ				EN	
170			カリヤスモドキ				VU	
171			キダチノネズミガヤ				VU	
172			チトセザサ				VU	
173			ヨコハマダケ				EN	
174			ハマヒエガエリ				VU	
175			ミヤギザサ				EN	
176			ケスズ				CR	
177	マツモ	マツモ	マツモ（狭義）				EN	CR+EN
178	キンポウゲ	ケシ	ヤマエンゴサク				NT	
179			ヤマブキソウ				VU	
180		メギ	ルイヨウボタン				VU	
181			イカリソウ					VU
182		キンポウゲ	アズマレイジンソウ				EN	
183			イヌハコネトリカブト				VU	
184			フクジュソウ				VU	
185			アズマイチゲ				NT	
186			レンゲショウマ				EN	
187			リュウキンカ				EN	
188			フジセンニンソウ				VU	
189			カザグルマ			NT	VU	
190			オキナグサ			NT	EN	
191			バイカモ				CR	
192			シギンカラマツ				VU	
193			イワカラマツ			VU	EN	
194			モミジカラマツ				CR	

表 2.1-9(5) 植物の重要な種一覧

No.	目名	科名	種名	選定基準				
195	ユキノシタ	ボタン	ベニバナヤマシャクヤク			VU	EN	
196		スグリ	ヤシャビシャク			NT	VU	
197			ヤブサンザシ				VU	CR+EN
198			ザリコミ				EN	
199		ユキノシタ	トリアシショウマ				VU	
200			ムカゴネコノメソウ			NT		
201		ベンケイソウ	アズマツメクサ			NT	VU	
202			ミツバベンケイソウ				EN	
203			アオベンケイ				CR	
204			ツメレンゲ			NT	VU	
205		タコノアシ	タコノアシ			NT		NT
206	マメ	マメ	ノアズキ				VU	
207			レンリソウ				EN	
208			イヌハギ			NT	VU	
209			ミヤマタニワタシ				VU	
210	バラ	クロウメモドキ	ヨコグラノキ				NT	
211			クロツバラ				CR	
212		イラクサ	トキホコリ			NT	VU	
213			ミヤマイラクサ				CR	
214		バラ	ザイフリボク				EN	
215			マメザクラ					CR+EN
216			ヤブザクラ			EN	EN	DD
217			エドヒガン				NT	
218			オオダイコンソウ				VU	
219			シウリザクラ				VU	
220			カワラサイコ					VU
221			ミツモトソウ				VU	
222			ヒロハノカワラサイコ			VU	VU	VU
223			シロヤマブキ			EN		
224			ナンキンナナカマド				VU	
225	ブナ	ブナ	ツブラジイ				DD	
226			ウバメガシ				CR	
227		カバノキ	タニガワハンノキ				DD	
228			アサダ					NT
229	ウリ	ウリ	ゴキツル				NT	
230	キントラノオ	スミレ	エゾアオイスミレ				VU	
231			サクラスミレ				VU	
232			ニオイタチツボスミレ					NT
233			ゲンジスミレ				CR	
234			ヒカゲスミレ				NT	
235	フウロソウ	フウロソウ	タチフウロ				EN	
236			ミツバフウロ				VU	
237	フトモモ	ミソハギ	ミズマツバ			NT	NT	
238			ヒシ				VU	
239		アカバナ	ウシタキソウ				VU	
240			ヒメアカバナ				EN	
241			トダイアカバナ			VU	VU	
242			ウスゲチョウジタデ			NT		

表 2.1-9(6) 植物の重要な種一覧

No.	目名	科名	種名	選定基準				
243	アオイ	ジンチョウゲ	コガンピ				VU	
244	アブラナ	アブラナ	コンロンソウ				EN	
245	ビャクダン	ツチトリモチ	ミヤマツチトリモチ			VU	EN	
246		オオバヤドリギ	マツグミ				NT	
247	ナデシコ	タデ	オオツルイタドリ				VU	
248			ナガバノヤノネグサ				CR	
249		ナデシコ	ワダソウ				EN	
250			フシグロセンノウ				VU	
251		ヒユ	ヤナギイノコヅチ				NT	
252			カワラアカザ				CR	
253			ミドリアカザ			CR		
254	ミズキ	アジサイ	ウメウツギ			VU	NT	
255	ツツジ	サクラソウ	ノジトラノオ			VU	CR	
256			ヌマトラノオ				VU	
257			クサレダマ				VU	
258			コイワザクラ			VU	VU	
259		ツバキ	ナツツバキ				EN	
260		ツツジ	シャクジョウソウ				NT	CR+EN
261			マルバノイチヤクソウ				VU	
262			サツキ				EN	
263			ヒカゲツツジ				EN	
264			ムラサキツリガネツツジ			EN	EN	
265			ゲンカイツツジ			NT		
266			コバノミツバツツジ				CR	
267			ハコネコメツツジ			VU	VU	
268			ナツハゼ				NT	
269	リンドウ	アカネ	ヤブムグラ			VU	VU	
270			ホソバノヨツバムグラ				VU	
271			イナモリソウ				VU	
272		リンドウ	コケリンドウ				VU	NT
273			ハナイカリ				VU	
274			ホソバノツルリンドウ			VU	EN	
275		マチン	アイナエ				VU	
276		キョウチクトウ	コイケマ				VU	
277			フナバラソウ			NT	EN	
278			スズサイコ			NT	VU	
279	ナス	ナス	ヤマホオズキ			VU	NT	
280	ムラサキ	ムラサキ	サワリソウ				VU	
281			ルリソウ				CR	
282	シソ	モクセイ	ミヤマアオダモ				VU	
283		オオバコ	サウトウガラシ				VU	
284			アブノメ					VU
285			シソクサ				VU	
286			キクモ				NT	NT
287			イヌノフグリ			NT	VU	
288			ヒメトラノオ				CR	
289			カワヂシャ			NT		
290			クガイソウ				CR	

表 2.1-9(7) 植物の重要な種一覧

No.	目名	科名	種名	選定基準				
291	シソ	ゴマノハグサ	ゴマノハグサ			NT	CR	
292			サツキヒナノウスツボ				EN	
293		シソ	タチキランソウ			NT		
294			ツルカコソウ			VU	CR	
295			タニジャコウソウ			NT		
296			カメバヒキオコシ				CR	
297			キセワタ			VU	CR	DD
298			ヤマジソ			NT	VU	
299			ミゾコウジュ			NT		VU
300			ヒメナミキ				VU	
301			カリガネソウ				VU	
302		ハマウツボ	シオガマギク				VU	
303			ヒキヨモギ				VU	
304		タヌキモ	イヌタヌキモ			NT	EN	CR+EN
305			タヌキモ			NT	EN	
306		キツネノマゴ	ハグロソウ					CR+EN
307	キク	キキョウ	フクシマシャジン				EN	
308			バアソブ			VU	VU	
309			キキョウ			NT	EN	
310			ヒナギキョウ				VU	
311		キク	ノコギリソウ				EN	
312			ヤマハハコ				VU	
313			カワラハハコ				VU	CR+EN
314			ヤハズハハコ				VU	
315			カワラヨモギ					CR+EN
316			タテヤマギク			NT		
317			ヒメシオン				EN	
318			カワラノギク			EN	EN	CR+EN
319			アキハギク				VU	
320			ヨメナ				VU	
321			タウコギ					VU
322			ヒレアザミ				VU	
323			オオガंकビソウ				EN	
324			タカアザミ				EN	
325			シドキヤマアザミ				VU	
326			ハチオウジアザミ				VU	
327			タカサブロウ					VU
328			サワヒヨドリ				EN	
329			オグルマ				NT	
330			カセンソウ				VU	
331			タカサゴソウ			VU	CR	DD
332			ノニガナ				NT	
333			カワラニガナ			NT	VU	CR+EN
334			メタカラコウ				EN	
335			オオモミジガサ				EN	
336			ウスゲタマブキ				EN	
337			アキノハハコグサ			EN	CR	DD
338			ミヤコアザミ				VU	DD
339			タカオヒゴタイ				VU	

表 2.1-9(8) 植物の重要な種一覧

No.	目名	科名	種名	選定基準				
340	キク	キク	キントキヒゴタイ				VU	
341			セイタカトウヒレン				CR	
342			キクアザミ				EN	DD
343			キオン				NT	
344			ハバヤマボクチ				EN	
345			エゾタンボポ				CR	
346			コウリンカ			VU	EN	
347			オカオグルマ				EN	VU
348			サワオグルマ				CR	
349	セリ	セリ	ハナビゼリ				EN	
350			ミシマサイコ			VU	CR	
351			ホタルサイコ				CR	
352			セリモドキ				CR	
353			イブキボウフウ				EN	
354	マツムシソウ	ガマズミ	レンブクソウ					VU
355		スイカズラ	ナベナ				VU	
計	42目	88科	355種	0種	0種	93種	302種	76種

注) 1: 選定基準の記号は、表 2.1-8に対応する。

2: 種名及び配列は、「令和7年度 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和7年10月、国土交通省)に準拠し、未掲載種は「維管束植物和名チェックリスト ver.1.10」(令和元年、JBIF)「米倉浩司・梶田忠(2003-)「BG Plants 和名 - 学名インデックス」(YList) <http://ylist.info>)及び原典の順に準拠した。

2) 植生

調査区域における現存植生の状況は、図 2.1-6 に示すとおりである。

対象事業実施区域には、市街地が広がっているほか、モザイク状に畑雑草群落が分布している。また、北側の調査区域の一部には、クヌギ - コナラ群集、スギ・ヒノキ・サワラ植林及び緑の多い住宅地が分布している。加えて、南側の調査区域の一部には、果樹園及び造成地が分布している。

調査区域の大部分には市街地が広がっており、北東側にはクヌギ - コナラ群集やゴルフ場・芝地、スギ・ヒノキ・サワラ植林が分布している。また、南西側の相模川には、ムクノキ - エノキ群落やヨシクラス、オギ群集等が分布し、その背後には畑雑草群落や水田雑草群落が広がっている。

対象事業実施区域の周辺には、クヌギ - コナラ群集やスギ・ヒノキ・サワラ植林、畑雑草群落、ゴルフ場・芝地、造成地等が広がり、シラカシ屋敷林が点在している。また、鳩川及び道保川等の相模川水系の河川沿いには緑の多い住宅地が広がっており、道保川沿いではシラカシ群集やクヌギ - コナラ群集、八瀬川沿いではコクサギ - ケヤキ群集等が分布している。

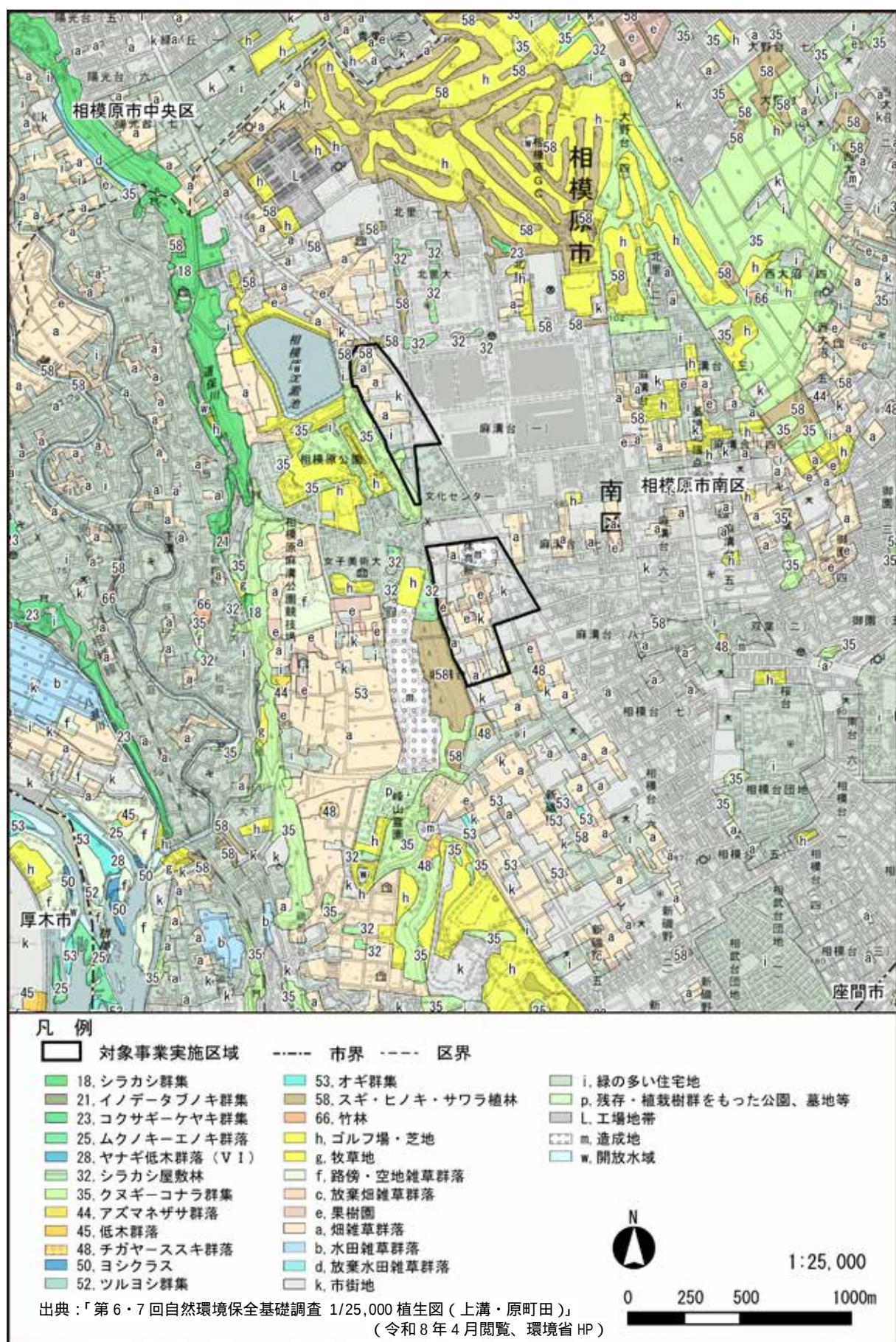


図 2.1-6 現存植生図

3) 巨樹・巨木林等

調査区域における巨樹・巨木林の状況は、表 2.1-10 及び図 2.1-7 に示すとおりである。

調査区域には、5 件の巨樹・巨木林が存在する。なお、対象事業実施区域に巨樹・巨木林は存在しない。

調査区域に天然記念物（植物）及び特定植物群落は存在しない。

表 2.1-10 調査区域における巨樹・巨木林の状況

番号	所在地	推定樹齢 (年)	樹種名	樹周 (cm)	樹高 (m)	通称・呼称
1	相模原市	-	スダジイ	360	10	-
2		-	サイカチ	325	6	-
3		-	イチョウ	412	25	-
4	厚木市	100～199	タブノキ	312	17	山王さん
5		100～199	ケヤキ	312	19	山王さん

注) 表中の番号は、図 2.1-7中の番号に対応する。

出典:「第4回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林調査(関東版2)」(令和8年4月閲覧、環境省 HP)

「第6回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林調査」(令和8年4月閲覧、環境省 HP)

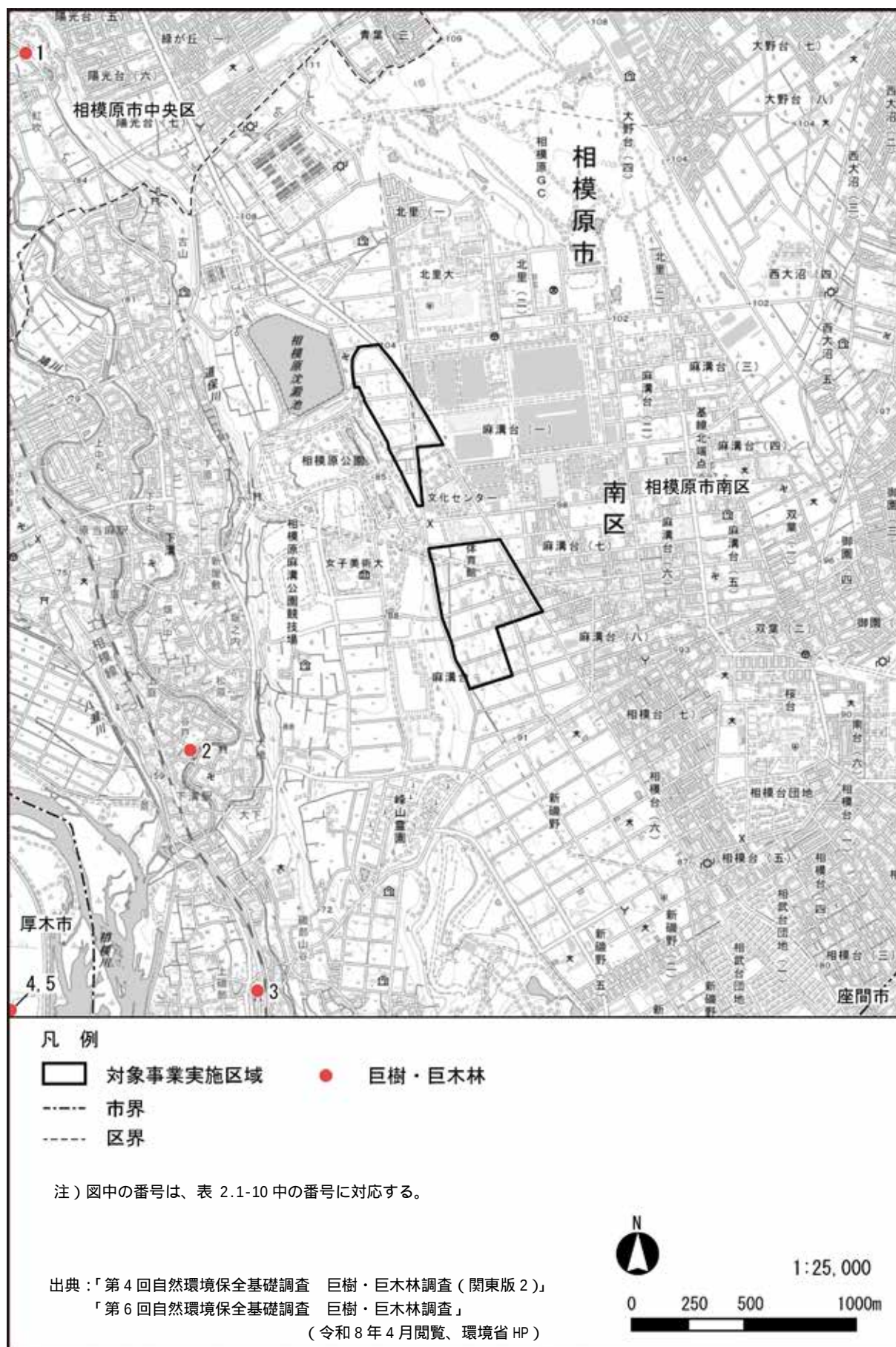


図 2.1-7 重要な植物等の状況

(2) 動物の生息及び分布

調査区域における動物相の状況を把握するため、表 2.1-11 に示す動物相に係る文献を整理した。対象分類群ごとに整理した文献は、哺乳類関係文献 9 編、鳥類関係文献 15 編、爬虫類関係文献 6 編、両生類関係文献 7 編、昆虫類関係文献 7 編、淡水魚類関係文献 8 編、底生動物関係文献 5 編である。

表 2.1-11 文献その他の資料（動物）

No	文献その他資料名	出典・編集者	発行年 閲覧時期	対象分類群							対象データの 範囲
				哺乳 類	鳥 類	爬 虫 類	両 生 類	昆 虫 類	淡 水 魚 類	底 生 動 物	
1	神奈川県レッドデータ 生物調査報告書 2006	神奈川県立生 命の星・地球 博物館	平成 18 年 7 月	○	○	○	○	○	○	○	調査対象地域
2	かながわの鳥と獣	神奈川県	平成 4 年 3 月	○	○						調査対象地域
3	かながわの鳥図鑑	神奈川県	平成 4 年 3 月		○						
4	神奈川県内河川の魚類	神奈川県	平成 26 年 3 月						○		調査区域及び その周辺の調 査地点 ^{注)1}
5	神奈川県内河川の底生動物	神奈川県	平成 26 年 3 月							○	
6	生物多様性情報システム - 基礎調査データベース 検索 - (第 2 回～第 6 回自然 環境保全基礎調査 動物 分布調査書)	生物多様性セ ンターHP	令和 8 年 4 月 閲覧	○	○	○	○	○	○		調査対象 2 次メッシュ
7	環境アセスメントデータ ベース (EADAS)	環境省 HP	令和 8 年 4 月 閲覧	○	○						
8	神奈川猛禽類レポート	神奈川野生生物 研究会	平成 12 年 5 月		○						神奈川県
9	自然環境保全基礎調査 全国鳥類繁殖分布調査 (2016-2021 年)	環境省 HP	令和 8 年 4 月 閲覧		○						調査対象 2 次メッシュ
10	相模原市自然環境観察員 制度 年次報告書 (令和 2 年度～令和 6 年度)	相模原市立 環境情報セン ターHP	令和 8 年 4 月 閲覧	○	○		○	○	○	○	調査区域及び その周辺の調 査地点
11	相模原市史 自然編	相模原市	平成 21 年 5 月	○	○	○	○	○	○	○	相模原市
12	厚木市レッドリスト	厚木市	令和 3 年 3 月	○	○	○	○	○	○		厚木市
13	厚木市生物目録	厚木市	令和 3 年 3 月	○	○	○	○	○	○	○	厚木市
14	座間市の動物:座間市動物 調査報告書	座間市教育委 員会	平成 5 年 3 月	○	○	○	○	○	○		座間市
15	猛禽類調査業務委託 (その 1)	相模原市 環境経済局	令和 5 年 10 月		○						相模原市
16	猛禽類調査業務委託 (その 2)	相模原市 環境経済局	令和 6 年 3 月		○						相模原市
17	麻溝台・新磯野第一整備地 区猛禽類調査業務委託	相模原市 都市建設局	令和 7 年 3 月		○						相模原市

注) 1: St. 90 (新一の沢橋) 及び St. 92 (道保川) を対象とした。

2: 調査対象地域及び調査対象 2 次メッシュの範囲は前掲図 2-1 (p. 2-2) 参照。

1) 動物の重要な種

動物の重要な種は、表 2.1-11 の文献で確認された種について、表 2.1-12 に示す選定基準に基づき、学術上又は希少性の観点から選定した。また、対象とする重要種は、表 2.1-12 の及び に示すカテゴリーの絶滅(EX)及び野生絶滅(EW)以外とした。

表 2.1-12 動物の重要な種の選定基準

No.	選定基準	カテゴリー
	「文化財保護法」(昭和 25 年法律第 214 号) 「神奈川県文化財保護条例」(昭和 30 年神奈川県条例第 13 号) 「相模原市文化財の保存及び活用に関する条例」 (平成 12 年相模原市条例第 27 号) 「厚木市文化財保護条例」(平成 5 年厚木市条例第 3 号) 「座間市文化財保護条例」(昭和 53 年座間市条例第 13 号)	特天：特別天然記念物 国天：天然記念物 県天：神奈川県天然記念物 市天：相模原市天然記念物 厚木市天然記念物 座間市天然記念物
	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」 (平成 4 年法律第 75 号)	国際：国際希少野生動植物 国内：国内希少野生動植物
	「環境省レッドリスト 2020(哺乳類、昆虫類、汽水・淡水魚類、貝類、その他無脊椎動物)」(令和 2 年 3 月、環境省) 「環境省第 5 次レッドリスト(鳥類、爬虫類、両生類)」 (令和 8 年 3 月、環境省)	EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR：絶滅危惧 A 類 EN：絶滅危惧 B 類 VU：絶滅危惧 類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群
	「神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006(哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、汽水・淡水魚類)」(平成 18 年 7 月、神奈川県) 「神奈川県レッドリスト 2026(昆虫類・クモ類)」 (令和 8 年 3 月、神奈川県)	EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR+EN：絶滅危惧 類 CR：絶滅危惧 A 類 EN：絶滅危惧 B 類 VU：絶滅危惧 類 NT：準絶滅危惧 減少：減少種 希少：希少種 要注：要注意種 注目：注目種 DD：情報不足 DD(A)：情報不足 A(昆虫類のみ) DD(B)：情報不足 B(昆虫類のみ) 不明：不明種 LP：絶滅のおそれのある地域個体群 鳥類は繁殖期、非繁殖期に分けて区分されている。
	「厚木市レッドデータブック」(令和 3 年 3 月、厚木市)	EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR+EN：絶滅危惧 類 CR：絶滅危惧 A 類 EN：絶滅危惧 B 類 VU：絶滅危惧 類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足

調査区域における哺乳類、鳥類、爬虫類・両生類、昆虫類、淡水魚類及び底生動物の生息状況は、次頁以降に示すとおりである。

① 哺乳類

文献により確認された哺乳類は7目18科38種であり、そのうち、表 2.1-13 に示すとおり、重要な哺乳類として5目10科13種が確認された。

表 2.1-13 哺乳類の重要な種一覧

No.	目名	科名	種名	選定基準				
1	モグラ（食虫）	トガリネズミ	カワネズミ				NT	DD
2	コウモリ（翼手）	キクガシラコウモリ	コキクガシラコウモリ （ニホンコキクガシラコウモリ）				VU	
3		ヒナコウモリ	モモジロコウモリ				NT	
4			ヤマコウモリ			VU	VU	
5			ヒナコウモリ				VU	
6	ネズミ（齧歯）	リス	ニホンリス				NT	
7		ヤマネ	ヤマネ	国天			VU	DD
8		ネズミ	ハタネズミ				NT	DD
9			カヤネズミ				NT	NT
10	ネコ（食肉）	クマ	ツキノワグマ				CR+EN	DD
11		イヌ	キツネ				NT	NT
12		イタチ	ニホンイタチ				NT	NT
13	ウシ（偶蹄）	ウシ	カモシカ	特天			NT	DD
計	5目	10科	13種	2種	0種	1種	13種	8種

注) 1: 選定基準の記号は、表 2.1-12に対応する。

2: 種名及び配列は、「令和7年度 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和7年10月、国土交通省)に準拠した。

② 鳥類

文献により確認された鳥類は 21 目 61 科 265 種であり、そのうち、表 2.1-14 に示すとおり、重要な鳥類として 17 目 43 科 138 種が確認された。

表 2.1-14(1) 鳥類の重要な種一覧

No.	目名	科名	種名	選定基準					
							繁殖	非繁殖	
1	キジ	キジ	ウズラ			VU		VU	CR+EN
2			ヤマドリ				VU	VU	VU
3			キジ						NT
4	カモ	カモ	ヒシクイ	国天		NT			
5			マガン	国天					
6			シジュウカラガン		国内	VU			
7			オシドリ				希少	減少	
8			シマアジ					希少	
9			トモエガモ			DD		希少	
10			ホシハジロ			NT			
11			キンクロハジロ			VU			
12			スズガモ			NT			
13			コウライアイサ		国際				
14	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ						NT
15	ハト	ハト	アオバト				注目	注目	NT
16	コウノトリ	コウノトリ	コウノトリ	特天	国内	EN			
17	カツオドリ	カツオドリ	アカアシカツオドリ			VU			
18	ペリカン	サギ	サンカノゴイ			CR		DD	
19			ヨシゴイ			DD	VU		VU
20			ミゾゴイ			NT	CR+EN		DD
21			ゴイサギ			VU			NT
22			ササゴイ			VU	VU		VU
23			アマサギ			EN	減少		VU
24			チュウサギ			NT			NT
25			コサギ			VU			NT
26	ツル	クイナ	クイナ					VU	VU
27			ヒメクイナ			DD			
28			ヒクイナ			NT	CR+EN		CR+EN
29			バン			VU			NT
30	カッコウ	カッコウ	ジュウイチ				NT		
31			カッコウ				VU		VU
32	ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ			NT	VU		VU
33	アマツバメ	アマツバメ	ハリオアマツバメ			VU			
34			アマツバメ			VU			
35			ヒメアマツバメ				減少		
36	チドリ	チドリ	タゲリ					VU	VU
37			ケリ			DD	希少	NT	VU
38			ムナグロ			VU		減少	VU
39			ダイゼン					減少	
40			イカルチドリ				NT	注目	NT
41			コチドリ				注目		NT
42			シロチドリ			VU	VU	NT	CR+EN
43			メダイチドリ		国際			NT	
44		セイタカシギ	セイタカシギ			DD			

表 2.1-14(2) 鳥類の重要な種一覧

No.	目名	科名	種名	選定基準					
							繁殖	非繁殖	
45	チドリ	シギ	ヤマシギ					希少	DD
46			オオジシギ			NT	絶滅		
47			タシギ					注目	NT
48			オグロシギ					VU	
49			オオソリハシシギ			VU		VU	
50			チュウシャクシギ					VU	VU
51			ハウロクシギ		国際	VU		CR+EN	
52			ツルシギ			EN		NT	
53			アカアシシギ			CR		NT	
54			コアオアシシギ					NT	
55			アオアシシギ					NT	VU
56			クサシギ					NT	NT
57			タカブシギ			VU		NT	VU
58			キアシシギ					VU	VU
59			ソリハシシギ					VU	
60			イソシギ				希少	注目	NT
61			キョウジョシギ			NT		VU	VU
62			オバシギ		国際			VU	
63			コオバシギ		国際				
64			ミユビシギ					CR+EN	
65			トウネン			NT		VU	VU
66			ヒバリシギ					NT	VU
67			ウズラシギ					NT	
68			ハマシギ			VU		VU	VU
69			エリマキシギ					NT	VU
70		タマシギ	タマシギ			DD	CR+EN	希少	CR+EN
71		ツバメチドリ	ツバメチドリ			VU			
72		カモメ	ウミネコ			VU			
73			オオセグロカモメ			EN			
74			コアジサシ			EN	CR+EN		CR+EN
75	タカ	ミサゴ	ミサゴ				VU	NT	VU
76		タカ	ハチクマ			DD	CR+EN		
77			オジロワシ	国天	国内・国際	VU			
78			オオワシ	国天	国内	VU			
79			チュウヒ		国内	EN		VU	
80			ツミ				VU	希少	DD
81			ハイタカ			NT	DD	希少	DD
82			オオタカ			NT	VU	希少	VU
83			サシバ			VU	CR+EN		CR+EN
84			ノスリ				VU	希少	VU
85			イヌワシ	国天	国内	EN			
86			クマタカ		国内	EN	VU	VU	DD
87	フクロウ	フクロウ	オオコノハズク				CR+EN	希少	DD
88			コノハズク				CR+EN		
89			フクロウ				NT		VU
90			アオバズク				VU		CR+EN
91			トラフズク					CR+EN	DD
92			コミミズク					CR+EN	DD

表 2.1-14(3) 鳥類の重要な種一覧

No.	目名	科名	種名	選定基準					
							繁殖	非繁殖	
93	ブッポウソウ	カワセミ	アカショウビン				VU		CR+EN
94			ヤマセミ			VU	希少		CR+EN
95		ブッポウソウ	ブッポウソウ			EN	CR+EN		CR+EN
96	ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ		国内	NT	CR+EN	希少	
97	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ				VU		CR+EN
98		カササギヒタキ	サンコウチョウ				VU		VU
99		モズ	チゴモズ			EN	CR+EN		
100			モズ				減少		NT
101			アカモズ		国内	CR	CR+EN		
102		カラス	オナガ			NT			
103		キクイタダキ	キクイタダキ				希少		
104		シジュウカラ	コガラ				VU	NT	
105		ヒバリ	ヒバリ				減少		NT
106		ツバメ	ツバメ				減少		NT
107			コシアカツバメ				減少		
108			ヤブサメ				NT		NT
109		ムシクイ	メボソムシクイ				VU		
110			エゾムシクイ				NT		
111			センダイムシクイ				NT		VU
112		センニュウ	オオセッカ		国内	EN			
113		ヨシキリ	オオヨシキリ				VU		VU
114			コヨシキリ			NT	CR+EN		
115		セッカ	セッカ				減少	減少	VU
116		ゴジュウカラ	ゴジュウカラ				NT		
117		カワガラス	カワガラス				減少	減少	VU
118		ヒタキ	マミジロ				希少		
119			トラツグミ				減少		NT
120			クロツグミ				VU		VU
121			アカハラ				減少		
122			コマドリ				CR+EN		
123			コルリ				VU		VU
124			ルリビタキ				VU		
125			コサメビタキ				CR+EN		VU
126			キビタキ				減少		NT
127			オオルリ				NT		NT
128		スズメ	ニユナイスズメ					CR+EN	
129		セキレイ	キセキレイ				減少		NT
130			セグロセキレイ				減少		NT
131			ピンズイ			NT	VU		
132		アトリ	カワラヒワ				減少		
133		ホオジロ	ホオジロ						NT
134			ホオアカ				CR+EN		
135			カシラダカ			EN			
136			アオジ				VU		
137			クロジ				CR+EN	減少	NT
138			オオジュリン					VU	VU
計	17目	43科	138種	6種	15種	60種	72種	56種	74種

注) 1: 選定基準の記号は、表 2.1-12に対応する。

2: 種名及び配列は、「令和7年度 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和7年10月、国土交通省)に準拠した。

③ 爬虫類

文献により確認された爬虫類は2目11科17種であり、そのうち、表 2.1-15 に示すとおり、重要な爬虫類として2目4科7種が確認された。

表 2.1-15 爬虫類の重要な種一覧

No.	目名	科名	種名	選定基準				
1	カメ	スッポン	ニホンスッポン			DD		
2	有鱗	トカゲ	ニホントカゲ				要注	
3		ナミヘビ	シマヘビ				要注	
4			アオダイショウ				要注	
5			ヒバカリ				NT	NT
6			ヤマカガシ				要注	
7		クサリヘビ	ニホンマムシ				要注	NT
計	2目	4科	7種	0種	0種	1種	6種	2種

注) 1: 選定基準の記号は、表 2.1-12に対応する。

2: 種名及び配列は、「令和7年度 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和7年10月、国土交通省)に準拠した。

④ 両生類

文献により確認された両生類は2目6科14種であり、そのうち、表 2.1-16 に示すとおり、重要な両生類として2目4科9種が確認された。

表 2.1-16 両生類の重要な種一覧

No.	目名	科名	種名	選定基準				
1	有尾	イモリ	アカハライモリ			NT	CR+EN	CR+EN
2	無尾	ヒキガエル	アズマヒキガエル				要注	VU
3		アカガエル	ナガレタゴガエル				希少	
4			ニホンアカガエル				VU	EX
5			ヤマアカガエル					VU
6			トウキョウダルマガエル			NT	VU	VU
7			ツチガエル				要注	NT
8		アオガエル	シュレーゲルアオガエル				要注	NT
9			モリアオガエル				要注	
計	2目	4科	9種	0種	0種	2種	8種	7種

注) 1: 選定基準の記号は、表 2.1-12に対応する。

2: 種名及び配列は、「令和7年度 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和7年10月、国土交通省)に準拠した。

⑤ 昆虫類

文献により確認された昆虫類は 20 目 338 科 5,244 種であり、そのうち、表 2.1-17 に示すとおり、重要な昆虫類として 15 目 100 科 294 種が確認された。

表 2.1-17(1) 昆虫類の重要な種一覧

No.	目名	科名	種名	選定基準				
1	トンボ（蜻蛉）	アオイトトンボ	ホソミオツネトンボ				EN	CR+EN
2			アオイトトンボ				EN	
3			オツネトンボ				CR	CR+EN
4		イトトンボ	キイトトンボ				CR	CR+EN
5			モートンイトトンボ			NT	CR	CR+EN
6			クロイトトンボ				NT	
7			セスジイトトンボ				CR	CR+EN
8			オオイトトンボ				CR	CR+EN
9		モノサシトンボ	モノサシトンボ				CR	CR+EN
10		カワトンボ	アオハダトンボ			NT	NT	CR+EN
11			ニホンカワトンボ				NT	
12		ヤンマ	ネアカヨシヤンマ			NT	CR	
13			アオヤンマ			NT	CR	
14			オオルリボシヤンマ				注目	CR+EN
15			コシボソヤンマ				NT	
16			カトリヤンマ				VU	CR+EN
17			ミルンヤンマ				NT	
18			サラサヤンマ				EN	CR+EN
19		サナエトンボ	ヤマサナエ				NT	NT
20			キヒロサナエ			NT	EN	
21			アオサナエ				EN	
22			ホンサナエ				EN	
23			コサナエ				CR	CR+EN
24		ムカシヤンマ	ムカシヤンマ				CR	
25		エゾトンボ	オオヤマトンボ					CR+EN
26			コヤマトンボ				NT	NT
27			タカネトンボ				VU	
28		トンボ	コフキトンボ				注目	
29			ヨツボシトンボ				CR	CR+EN
30			ハラビロトンボ				NT	
31			シオヤトンボ				NT	NT
32			チョウトンボ				EN	CR+EN
33			コノシメトンボ					CR+EN
34			ナツアカネ				VU	
35			マユタテアカネ				NT	
36			ノシメトンボ				EN	CR+EN
37			ヒメアカネ				CR	CR+EN
38			ミヤマアカネ				VU	
39	カマキリ（蟷螂）	カマキリ	チョウセンカマキリ					NT
40	カワゲラ（セキ翅）	カワゲラ	ヒメオオヤマカワゲラ				NT	
41	バッタ（直翅）	クツワムシ	クツワムシ				NT	NT
42		キリギリス	オナガササキリ				注目	NT
43			クロスジコバネササキリモドキ					DD
44			ヒガシキリギリス				注目	VU
45			ハヤシノウマオイ				NT	
46			ハタケノウマオイ				EN	
47			ヒサゴクサキリ					DD
48		ケラ	ケラ				注目	NT
49		マツムシ	スズムシ				注目	NT
50			マツムシ				注目	NT

表 2.1-17(2) 昆虫類の重要な種一覧

No.	目名	科名	種名	選定基準				
51	バッタ（直翅）	コオロギ	クロツヤコオロギ				NT	CR+EN
52		ヒバリモドキ	カワラスズ					DD
53			キンヒバリ					CR+EN
54		バッタ	カワラバッタ				CR	EX
55			クルマバッタ				NT	NT
56			ショウリョウバッタモドキ					NT
57			ナキイナゴ				NT	
58		イナゴ	ハネナガフキバッタ				CR	NT
59			ハネナガイナゴ					NT
60		ヒシバッタ	トゲヒシバッタ					DD
61			ニセハネナガヒシバッタ				DD	NT
62			トウカイコバネヒシバッタ				DD	
63	ナナフシ（竹節虫）	ナナフシ	ヤスマツトビナナフシ				DD	
64			エダナナフシ				DD	
65	カメムシ（半翅）	セミ	チッチゼミ				VU	
66			ハルゼミ				CR	CR+EN
67		サシガメ	アシボソトビロサシガメ			NT		
68			オオアシナガサシガメ			NT		
69		ツノカメムシ	モンキツノカメムシ					DD
70		ツチカメムシ	シロヘリツチカメムシ			NT	NT	CR+EN
71		カメムシ	ナカボシカメムシ					CR+EN
72			イネカメムシ				注目	
73		クヌギカメムシ	ヘラクヌギカメムシ					NT
74			クヌギカメムシ					EX
75		アメンボ	オオアメンボ				NT	NT
76			エサキアメンボ			NT	EN	CR+EN
77			ババアメンボ			NT	EN	CR+EN
78		ミズムシ（昆）	ヒメコミズムシ				注目	
79		コオイムシ	コオイムシ			NT	NT	DD
80			オオコオイムシ				EN	CR+EN
81		タイコウチ	タイコウチ				CR	CR+EN
82			ミズカマキリ				CR	
83		ナベブタムシ	ナベブタムシ				NT	
84		マルミズムシ	ヒメマルミズムシ				CR	
85			マルミズムシ				VU	
86	ヘビトンボ	ヘビトンボ	ヤマトクロスジヘビトンボ					NT
87			ヘビトンボ				注目	DD
88		センブリ	ネグロセンブリ					NT
89	ラクダムシ	ラクダムシ	ラクダムシ					NT
90	アミメカゲロウ（脈翅）	ツノトンボ	オオツノトンボ					NT
91	シリアゲムシ（長翅）	ガガンボモドキ	キアシガガンボモドキ					VU
92		シリアゲムシ	キシタトゲシリアゲ				NT	NT
93			ブライアシリアゲ					NT
94			キアシシリアゲ					NT
95	トビケラ（毛翅）	エグリトビケラ	エグリトビケラ				NT	CR+EN
96	チョウ（鱗翅）	ミノガ	オオミノガ				VU	
97		スカシバガ	アシナガモモトスカシバ			VU		
98		マダラガ	ルリイロスカシクロバ				VU	
99		セセリチョウ	アオバセセリ本土亜種				要注	
100			ミヤマセセリ					NT
101			ホソバセセリ				EN	CR+EN
102			ギンイチモンジセセリ			NT	EN	VU
103			コキマダラセセリ				EN	
104			ミヤマチャバネセセリ				EN	
105			オオチャバネセセリ				EN	CR+EN
106			チャマダラセセリ			EN		
107			スジグロチャバネセセリ北海道・本州・九州亜種			NT	CR	

表 2.1-17(3) 昆虫類の重要な種一覧

No.	目名	科名	種名	選定基準				
108	チョウ（鱗翅）	シジミチョウ	ウラゴマダラシジミ				EN	
109			カラスシジミ				EN	
110			ウラナミアカシジミ					NT
111			ミドリシジミ				EN	
112			ゴイシシジミ				EN	
113			シルビアシジミ			EN	CR	EX
114		タテハチョウ	コムラサキ				注目	DD
115			サカハチチョウ				VU	
116			ウラギンスジヒョウモン			VU	EN	CR+EN
117			オオウラギンスジヒョウモン				EN	CR+EN
118			スミナガシ本土亜種				要注	NT
119			ウラギンヒョウモン				EN	
120			アサマイチモンジ				EN	CR+EN
121			クモガタヒョウモン				EN	CR+EN
122			ミスジチョウ				EN	NT
123			ホシミスジ東北・中部地方亜種				EN	
124			シータテハ				CR	
125			オオムラサキ			NT	EN	VU
126			ヒメキマダラヒカゲ				EN	
127		アゲハチョウ	ギフチョウ			VU	CR	EX
128		シロチョウ	ツマグロキチョウ			EN	CR	EX
129			スジボソヤマキチョウ				CR	
130			ヤマキチョウ			EN	CR	
131			ヒメシロチョウ北海道・本州亜種			EN	EN	
132		ツトガ	ゴマフツトガ			NT		
133		マドガ	ギンスジオオマドガ				DD	
134		シャクガ	クロバネフユシャク				CR+EN	
135			フチグロトゲエダシャク				注目	CR+EN
136			サザナミフユナミシャク				VU	
137		ヤママユガ	オナガミズアオ本土亜種			NT		
138		シャチホコガ	カバイロシャチホコ			NT		
139		ヒトリガ	ヒトリガ				CR+EN	
140			ヤネホソバ			NT		
141			アメリカシロヒトリ				注目	
142			シロホソバ			NT		
143		ドクガ	スゲドクガ			NT	DD	
144		ヤガ	コシロシタバ			NT		
145			ウスムラサキヨトウ				DD	
146			キシタアツバ			NT		
147			ヨコハマセニジモンアツバ				DD	
148		コブガ	サラサリンガ				VU	CR+EN
149	ハエ（双翅）	ハルカ	ハマダラハルカ			DD		
150		ミズアブ	コガタミズアブ				NT	
151	コウチュウ（鞘翅）	ホソクビゴミムシ	アオバネホソクビゴミムシ				CR	
152		オサムシ	オオヨツボシゴミムシ				VU	
153			アシミゾヒメヒラタゴミムシ				CR	
154			クロズカタキバゴミムシ				EN	
155			ヨツモンカタキバゴミムシ				NT	
156			マダラケシミズギワゴミムシ				CR	
157			アオヘリミズギワゴミムシ				CR	
158			フタバシチビゴミムシ				EN	
159			アカガネアオゴミムシ				DD	
160			コアトワアオゴミムシ				DD	

表 2.1-17(4) 昆虫類の重要な種一覧

No.	目名	科名	種名	選定基準				
161	コウチュウ(鞘翅)	オサムシ	オオサカアオゴミムシ			DD	CR	DD
162			アオヘリアオゴミムシ			CR		
163			クロヒメヒョウタンゴミムシ				CR	
164			ダイミョウアトキリゴミムシ				EN	
165			アシグロチビヒョウタンゴミムシ				CR	
166			カワチマルクビゴミムシ					NT
167			ナカグロキバネクビナガゴミムシ				EN	
168			ヨツボシゴミムシ				EN	DD
169			クロサヒラタアトキリゴミムシ				DD	
170			イグチケブカゴミムシ			NT	EN	
171			クロケブカゴミムシ				NT	
172			ヒロムネナガゴミムシ				CR	
173			オオナガゴミムシ				EN	
174			コホソナガゴミムシ				NT	
175			オオキンナガゴミムシ				DD	
176			キアシツヤヒラタゴミムシ				EN	
177		ハンミョウ	ホソハンミョウ			VU	CR	
178		ゲンゴロウ	クロズマメゲンゴロウ				EN	CR+EN
179			セスジゲンゴロウ				CR	DD
180			クロゲンゴロウ			NT		CR+EN
181			ゲンゴロウ		国内	VU		EX
182			シマゲンゴロウ			NT	EN	CR+EN
183			コシマゲンゴロウ				NT	
184			ケシゲンゴロウ			NT	CR	DD
185			ツブゲンゴロウ					EX
186			コシマチビゲンゴロウ			VU		
187			ヒメシマチビゲンゴロウ				CR	
188			キベリマメゲンゴロウ			NT		
189			ヒメゲンゴロウ				NT	
190		ミズスマシ	ミズスマシ			VU	CR	CR+EN
191			ツマキレオナガミズスマシ			VU	NT	DD
192			コオナガミズスマシ			VU	NT	DD
193			オナガミズスマシ				NT	
194		コガシラミズムシ	クビボソコガシラミズムシ			DD		DD
195			コガシラミズムシ				CR	NT
196		コツブゲンゴロウ	コツブゲンゴロウ				EN	DD
197		カワラゴミムシ	カワラゴミムシ				EN	
198		ツブミズムシ	クロサワツブミズムシ				注目	
199		ガムシ	タマガムシ				EN	CR+EN
200			ゴマフガムシ				CR	
201			チビヒラタガムシ				DD	
202			コガムシ			DD	NT	NT
203			ガムシ			NT	CR	CR+EN
204			シジミガムシ			EN		
205			マメガムシ				NT	
206		エンマムシ	ドウガネエンマムシ				CR	
207			ルリエンマムシ				CR	
208		シデムシ	ヤマトモンシデムシ			NT	EN	
209			ヒメヒラタシデムシ				CR	CR+EN
210		クワガタムシ	ヒラタクワガタ本土亜種					DD
211			チビクワガタ				注目	
212			ミヤマクワガタ				NT	
213			コルリクワガタ				EN	

表 2.1-17(5) 昆虫類の重要な種一覧

No.	目名	科名	種名	選定基準				
214	コウチュウ(鞘翅)	コガネムシ	クロモンマグソコガネ			NT		
215			オオチャイロハナムグリ			NT	EN	CR+EN
216			ヒゲコガネ				VU	CR+EN
217			ムラサキツヤハナムグリ				VU	
218			ミヤマオオハナムグリ				DD	
219		ヒメドロムシ	ケスジドロムシ			VU	CR	
220		タマムシ	クロタマムシ				EN	
221			ウバタマムシ					VU
222		コメツキムシ	ウバタマコメツキ				NT	VU
223		ジョウカイボン	ナナサワクビボソジョウカイ				DD	
224		ホタル	ゲンジボタル					NT
225			ヘイケボタル				NT	VU
226		ジョウカイモドキ	クロキオビジョウカイモドキ				EN	
227		コクヌスト	オオコクヌスト				NT	
228		キスイムシ	オオナガキスイ				NT	
229		ケシキスイ	オオヒラタケシキスイ				NT	
230		ゴミムシダマシ	ツメアカマルチビゴミムシダマシ				DD	
231			カブトゴミムシダマシ				NT	
232			ヒラタキノコゴミムシダマシ				NT	
233		カミキリムシ	ヒゲナガモブトカミキリ				NT	
234			ツヤケシハナカミキリ				NT	
235			サビカミキリ				NT	
236			タデジマカミキリ				NT	
237			シロスジカミキリ				NT	NT
238			アカネトラカミキリ				NT	
239			ハンノキカミキリ				VU	CR+EN
240			ツシマムナクボカミキリ				NT	
241			ミドリカミキリ				NT	CR+EN
242			ハスオビヒゲナガカミキリ				注目	
243			キスジトラカミキリ				NT	
244			ホタルカミキリ				NT	
245			キッコウモンケシカミキリ				NT	
246			オダヒゲナガコバネカミキリ				NT	
247			ムネアカクロハナカミキリ				NT	
248			イタヤカミキリ				VU	
249			ゴマフカミキリ				NT	
250			ヒゲナガカミキリ				NT	
251			ミヤマカミキリ				NT	
252			ケブカヒラタカミキリ				VU	
253			ニセシラホシカミキリ				VU	
254			チャイロホソヒラタカミキリ				NT	
255			ネジロカミキリ				NT	
256			マルモンサビカミキリ				注目	
257			クスベニカミキリ				NT	
258			クロカミキリ				NT	
259			ヨツボシカミキリ			EN		CR+EN
260			トラフホソバネカミキリ				注目	
261			モモグロハナカミキリ				EN	
262			マルクビケマダラカミキリ				VU	
263		ハムシ	スジカミナリハムシ本州以南亜種				DD(B)	
264			イネネクイハムシ				VU	
265			クロセスジハムシ				DD	
266			コルリクビボソハムシ				注目	
267			クサレダマチビトビハムシ				CR	

表 2.1-17(6) 昆虫類の重要な種一覧

No.	目名	科名	種名	選定基準				
268	コウチュウ(鞘翅)	ゾウムシ	ゴボウゾウムシ				DD	
269			クロキボシゾウムシ				DD	
270		チビゾウムシ	ホソチビゾウムシ				CR	
271	ハチ(膜翅)	ヒラタハバチ	シロズヒラタハバチ			DD	NT	
272		ハバチ	イトウハバチ			NT	DD	
273		ヤドリキバチ	トサヤドリキバチ			DD		
274		コマユバチ	ウマノオバチ			NT	注目	
275		セイボウ	ムサシトゲセイボウ			NT	DD	
276			オオセイボウ			DD		
277		スズメバチ	ナミカバフドロバチ				VU	
278			コアシナガバチ				NT	
279			モンスズメバチ			DD		
280		クモバチ	キオビクモバチ				EN	
281			モンクモバチ				NT	
282			スギハラクモバチ			DD		
283			フタモンクモバチ			NT	NT	
284			アオスジクモバチ			DD		
285		ドロバチモドキ	ヤマトスナハキバチ本土亜種			DD		
286			ナミアワフキバチ				VU	
287			ミスジアワフキバチ				NT	
288		フシダカバチ	アカアシツチスガリ				DD	
289		アナバチ	キゴシジガバチ				NT	
290		ヒメハナバチ	タカチホヒメハナバチ				CR	
291		ミツバチ	ミヤママルハナバチ				VU	
292			ナミルリモンハナバチ			DD		
293		ハキリバチ	クズハキリバチ			DD		
294			マメコバチ				VU	
計	15目	100科	294種	0種	1種	66種	237種	111種

注) 1: 選定基準の記号は、表 2.1-12に対応する。

2: 種名及び配列は、「令和7年度 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和7年10月、国土交通省)に準拠し、未掲載種は「平成28年度調査からの調査対象(タクサリスト)」(平成28年9月、国土交通省)に準拠した。

⑥ 淡水魚類

文献により確認された淡水魚類は 8 目 21 科 66 種であり、そのうち、表 2.1-18 に示すとおり、重要な淡水魚類として 8 目 16 科 45 種が確認された。

表 2.1-18(1) 淡水魚類の重要な種一覧

No.	目名	科名	種名	選定基準				
1	ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	スナヤツメ類				EN	CR
2	ウナギ	ウナギ	ニホンウナギ			EN		CR
3	コイ	コイ	コイ（型不明）					DD
4			ゲンゴロウブナ			EN		
5			キンブナ			VU	EN	CR
6			アカヒレタビラ			EN	DD	
7			ワタカ			CR		
8			ハス			VU		
9			アブラハヤ				NT	
10			マルタ				VU	
11			ウグイ				NT	NT
12			ホンモロコ			CR		
13			ゼゼラ			VU		
14			カマツカ				NT	DD
-			カマツカ類					DD
15			ニゴイ				VU	VU
16			スゴモロコ			VU		
17		ドジョウ	ドジョウ			NT		DD
-			ドジョウ類					DD
18			カラドジョウ					DD
19			ヒガシシマドジョウ					NT
-			シマドジョウ種群				NT	DD
20		フクドジョウ	ホトケドジョウ			EN	EN	EN
21	ナマズ	ギギ	ギバチ			VU	CR	
22		ナマズ	ナマズ				注目	VU
23		アカザ	アカザ			VU	CR	
24	サケ	サケ	ヤマトイワナ				CR	
25			ニッコウイワナ			DD		
26			サクラマス（ヤマメ）			NT	CR	CR
27			サツキマス（アマゴ）			NT	CR	
28	トゲウオ	ヨウジウオ	イッセンヨウジ				注目	
29			テングヨウジ				注目	
30	ダツ	メダカ	ミナミメダカ			VU	CR	CR
31	スズキ	タイ	キチヌ				DD	
32		カジカ	カマキリ			VU	CR	
33			カジカ				VU	EN
34		カワアナゴ	カワアナゴ				EN	
35			チチブモドキ				DD	
36		ハゼ	ミミズハゼ				DD	
37			ボウスハゼ				NT	NT
38			オオヨシノボリ				NT	NT
39			クロヨシノボリ				NT	DD

表 2.1-18(2) 淡水魚類の重要な種一覧

No.	目名	科名	種名	選定基準				
40	スズキ	ハゼ	ゴクラクハゼ				NT	NT
-			トウヨシノボリ類					DD
41			ウロハゼ				注目	
42			スミウキゴリ				NT	NT
43			ウキゴリ					NT
44			ジュズカケハゼ			NT	DD	DD
45		クロユリハゼ	サツキハゼ				DD	
計	8目	16科	45種	0種	0種	19種	33種	26種

注) 1: 選定基準の記号は、表 2.1-12に対応する。

2: 種名及び配列は、「令和7年度 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和7年10月、国土交通省)に準拠した。

⑦ 底生動物

文献により確認された底生動物は 23 目 84 科 213 種であり、そのうち、表 2.1-19 に示すとおり、重要な底生動物として 7 目 15 科 23 種が確認された。

表 2.1-19 底生動物の重要な種一覧

No.	目名	科名	種名	選定基準				
1	汎有肺	ヒラマキガイ	カワコザラガイ			CR		
2	トンボ (蜻蛉)	アオイトトンボ	アオイトトンボ				EN	
3		カワトンボ	ニホンカワトンボ				NT	
4		ヤンマ	コシボソヤンマ				NT	
5			ミルンヤンマ				NT	
6		サナエトンボ	ヤマサナエ				NT	NT
7		エゾトンボ	コヤマトンボ				NT	NT
8	カワゲラ (セキ翅)	カワゲラ	ヒメオオヤマカワゲラ				NT	
9	カメムシ (半翅)	アメンボ	オオアメンボ				NT	NT
10		ナベブタムシ	ナベブタムシ				NT	
11	ヘビトンボ	ヘビトンボ	ヤマトクロスジヘビトンボ					NT
12			ヘビトンボ				注目	
13		センブリ	ネグロセンブリ					NT
14	トビケラ (毛翅)	ニンギョウトビケラ	コブニンギョウトビケラ				DD	
15	コウチュウ (鞘翅)	ゲンゴロウ	クロズマメゲンゴロウ				EN	CR+EN
16			キボシケシゲンゴロウ			DD	EN	
17			セスジゲンゴロウ				CR	DD
18			ゲンゴロウ		国内	VU		EX
19			ケシゲンゴロウ			NT	CR	DD
20			ツブゲンゴロウ					EX
21			コシマチビゲンゴロウ			VU		
22		ガムシ	タマガムシ				EN	CR+EN
23		ホタル	ゲンジボタル					NT
計	7目	15科	23種	0種	1種	5種	16種	12種

注) 1: 選定基準の記号は、表 2.1-12に対応する。

2: 種名及び配列は、「令和7年度 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和7年10月、国土交通省)に準拠した。

(3) 生態系

調査区域の現存植生の状況は、前掲図 2.1-6 (p.2-28) に示すとおりである。

対象事業実施区域は、市街地が広がっているほか、モザイク状に畑雑草群落が分布している。対象事業実施区域の北西側に位置する道保川、八瀬川流域にはまとまった平地林が残されており、道保川東側には下溝古山公園、神奈川県立相模原公園、相模原市立相模原麻溝公園や樹林地、農耕地が南北に広く存在し、都市生態系の貴重な拠点となっている。

「第3次相模原市環境基本計画【改定版】」(令和6年3月、相模原市)によると、都市部ではまとまった平地林は都市生態系の貴重な拠点となっている一方で、都市化に伴う緑地の消失や分断化、防災機能の低下などの課題もみられている。また、アライグマやオオキンケイギク等の特定外来生物の分布の拡大も地域の主な課題としてあげられている。

これらのまとまった樹林地では、生態系の上位に位置するオオタカに関する調査が平成13年から行われており、オオタカの営巣・繁殖が確認されている。

なお、調査区域を含む相模原市域の生態系の上位性種として、タヌキ、オオタカ、フクロウ等が挙げられる。また、典型性種としては、ハト類、サギ類、ツバメ類、メジロ、スズメ、ヒヨドリ、ニホンカナヘビ、アオダイショウ、ニホンアマガエル、イトモロコ、ドジョウ、シオカラトンボ、ヤマトシジミ及びモンシロチョウ等が挙げられる。

(4) 農地

調査区域の農地の状況は、図 2.1-8 に示すとおりである。

対象事業実施区域には、その他の農用地が存在している。また、対象事業実施区域の西側及び南側にも、その他の農用地が存在している。

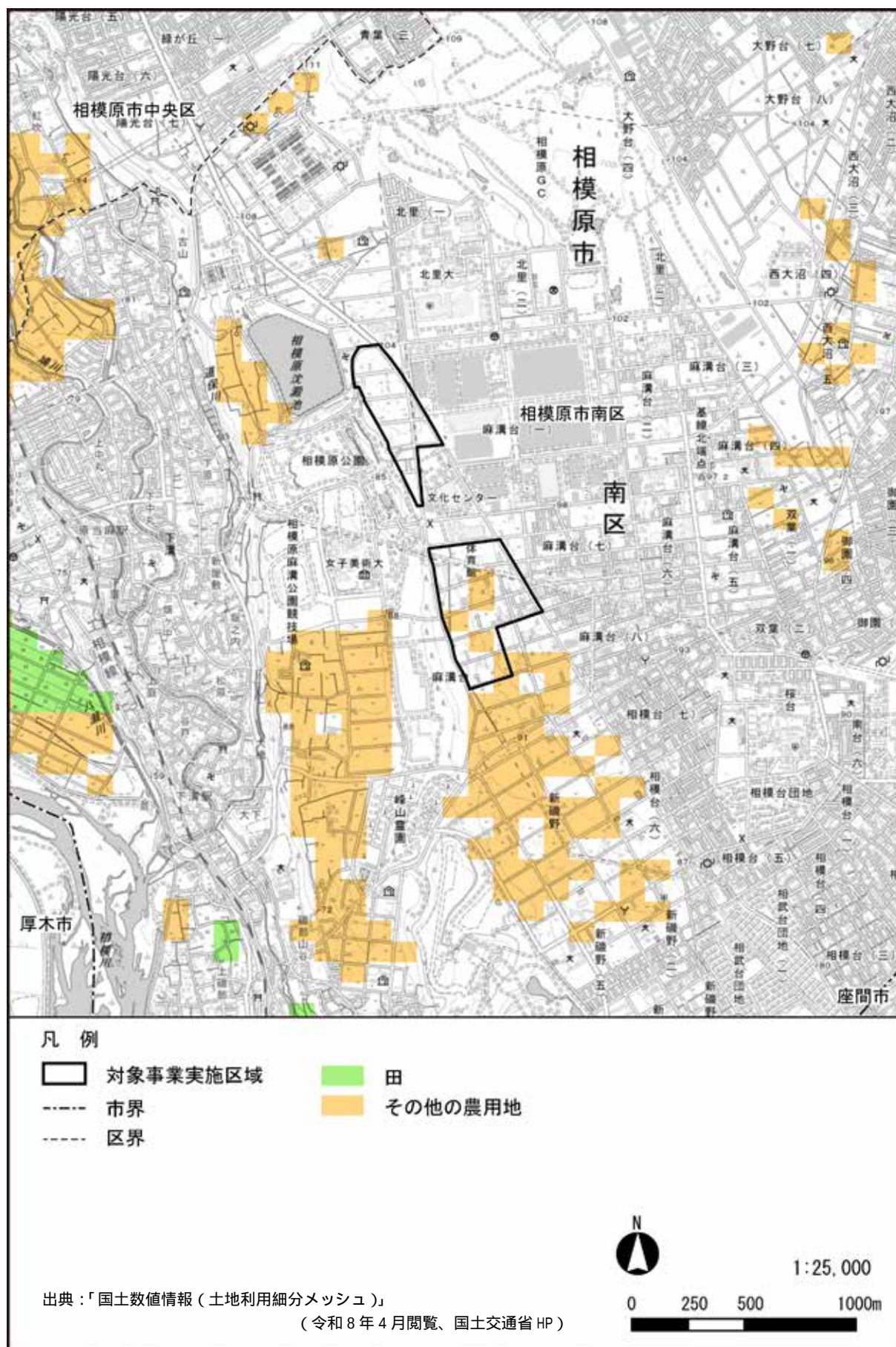


図 2.1-8 農地の状況

2.1.5 景観等の状況

(1) 景観資源

調査区域における自然景観資源の状況は、表 2.1-20 及び図 2.1-9 に示すとおりである。

自然景観資源としては、対象事業実施区域を含む調査区域内に「相模川（上野原、八王子）相模原段丘群、田名原段丘群、陽原段丘群」が存在している。

なお、調査区域に天然記念物（名勝）に指定されている区域はない。

表 2.1-20 自然景観資源の状況

類型	自然景観資源名	名称
河川景観	河成段丘	相模川（上野原、八王子）相模原段丘群、田名原段丘群、陽原段丘群

出典：「第3回自然環境保全基礎調査 神奈川県自然環境情報図」（平成元年、環境庁）



図 2.1-9 自然景観資源の状況

(2) 眺望点及びふれあい活動の場の状況

調査区域における主要な眺望点及び主要なふれあい活動の場の状況は、表 2.1-21 及び図 2.1-10 に示すとおりである。

主要な眺望点としては、対象事業実施区域の西側にある神奈川県立相模原公園、相模原市立相模原麻溝公園、道保川沿いを歩くコース及び JR 相模線沿線等が挙げられる。

主要なふれあい活動の場としては、対象事業実施区域を通るさがみの仲よし小道及び横浜水道道緑道のほか、対象事業実施区域の北西側にある相模原沈殿池、西側にある神奈川県立相模原公園及び相模原市立相模原麻溝公園等が挙げられる。

表 2.1-21 主要な眺望点及び主要なふれあい活動の場の状況

番号	主要な眺望点	主要なふれあい活動の場	名称	所在地	出典
1	○	○	神奈川県立相模原公園	相模原市南区麻溝台 1889	
2	○	○	相模原市立相模原麻溝公園	相模原市南区麻溝台 2317	
3		○	道保川公園	相模原市中央区上溝 1359	
4		○	相模台公園	相模原市南区桜台 21-1	
5		○	みどりのみち	相模原市中央区緑が丘 1～2 丁目	
6		○	さがみの仲よし小道	相模原市南区大野台 3 丁目～相模台 3 丁目	
7		○	木もれびの森・相模緑道緑地	相模原市南区大野台 8 丁目 相模原市中央区松が丘 1 丁目～南区上鶴間 8 丁目間、南区大野台 4 丁目～上鶴間本町 1 丁目間	
8		○	横浜水道道緑道	相模原市緑区青山 3482～南区上鶴間 4 丁目 1194 番先	
9		○	道保川緑地	相模原市南区磯部	
10		○	峰山霊園	相模原市南区磯部 4573-2	
11		○	相模川散策路	-	
12		○	相模原沈殿池	相模原市南区下溝	
13	○	○	八景の棚と河岸段丘	相模原市南区下溝	
14	○		三段の滝 展望広場	相模原市南区磯部	
15	○	○	三段の滝下流広場	相模原市南区磯部	
16	○	○	三段の滝下流～磯部頭首工	相模原市南区磯部	
17	○		八景の棚	相模原市南区下溝	
18	○	○	道保川沿いを歩くコース	-	
19		○	下溝古山公園	相模原市南区下溝 2348-1	
20	○	○	フィッシングパーク跡	相模原市南区下溝 3277	
21	○	○	下原やえざくら通り	相模原市南区下溝	
22	○	○	JR 相模線沿線	相模原市南区磯部	
23		○	勝坂歴史公園	相模原市南区磯部	
24		○	新磯野南公園	相模原市南区新磯野	
25		○	上依知青少年広場	厚木市厚木 2348	

注) 表中の番号は、図 2.1-10中の番号に対応する。

出典: 「公園・観光・交通施設」(令和8年4月閲覧、相模原市 HP)
「その他の市関連施設」(令和8年4月閲覧、相模原市 HP)
「相模川散策路マップ」(令和8年4月閲覧、相模原市 HP)
「相模原市観光ガイドブック」(令和8年4月閲覧、相模原市 HP)
「相模原市の魅力」(令和8年4月閲覧、相模原市 HP)
「いい～さがみはら」(令和8年4月閲覧、公益社団法人相模原市観光協会 HP)
「さがみはらさくらマップ」(令和8年4月閲覧、相模原市さくらさくプロジェクト HP)
「スポーツ広場・グラウンド」(令和8年4月閲覧、厚木市 HP)



図 2.1-10 主要な眺望点及び主要なふれあい活動の場の状況